

自：令和5年4月 1日  
至：令和6年3月31日

# 令和5年度 【事業実施報告書】



社会福祉法人 五所川原市社会福祉協議会



## 【目次】

第2次五所川原市地域福祉活動計画【ささえあいプラン】体系図	P.1
-------------------------------	-----

### ＝事業実施報告＝

#### つながり、ささえあう福祉の『地域づくり』の推進

##### 第1 住民主体の地域福祉活動の推進

1. 地域見守り支え合事業 P.2
2. 地域における共助の基盤づくり事業 P.3
3. 五所川原市社会福祉法人等連絡協議会運営事業 P.3
4. 第3次地域福祉活動計画の策定 P.3

##### 第2 地域の交流の場・機会の創出

1. 生活支援体制整備事業 P.3
2. ふれあいいきいきサロン P.4
3. ひとり暮らし高齢者のつどい実施事業 P.4

##### 第3 各当事者団体への支援

1. 各当事者福祉団体への支援（事務委託事業） P.4
2. 小規模地域ネットワーク・福祉団体活動費助成事業（地区社協活動費） P.6

#### 安心して暮らせる福祉の『まち・人づくり』の育成

##### 第1 ボランティア活動の促進と支援、担い手の育成

1. 五所川原市ボランティア・市民活動センター運営事業 P.7
2. アクティブシニアポイント事業 P.7
3. ボランティア養成講座実施事業 P.8

##### 第2 災害に強いまちづくり

1. 五所川原市災害ボランティアネットワーク事業 P.8
2. 福祉避難所の受け入れ態勢整備事業 P.8

##### 第3 福祉意識の醸成

1. 第66回 五所川原市社会福祉大会 P.8
2. ふくし出前講座実施事業 P.8

#### 自分らしく暮らせる福祉の『環境づくり』の促進

##### 第1 権利擁護の充実

1. 権利擁護センターごしょがわら運営事業 P.9
2. 西北五圏域（五所川原市・つがる市・鶴田町）権利擁護センター P.10

##### 第2 当事者の社会参加の促進

1. 五所川原市愛の輪レクリエーション大会 P.11
2. ケア付き立佞武多実施事業 P.11

## ニーズを受け止め対応できる『仕組みづくり』の充実

### 第1 地域生活を支える福祉サービスの充実

1. 介護福祉事業（介護予防・日常生活支援総合事業）・・・・・・・・・・ P. 11
2. 支え合い支援事業（保険適用外介護事業）・・・・・・・・・・ P. 13
3. 障害者総合支援事業・・・・・・・・・・ P. 13
4. 放課後児童健全育成事業・・・・・・・・・・ P. 15

### 第2 安心を支援しよりそう事業の推進

1. 生活福祉資金貸付事業・・・・・・・・・・ P. 15
2. 五所川原市たすけあい資金貸付事業・・・・・・・・・・ P. 15
3. 緊急通報システム「福祉安心電話サービス事業」・・・・・・・・・・ P. 16
4. 電話訪問サービス「お元気ですかコール事業」・・・・・・・・・・ P. 16
5. 福祉用具貸与事業・・・・・・・・・・ P. 16
6. 福祉移送サービス事業（一般乗用旅客自動車運送事業）・・・・・・・・・・ P. 16
7. 地域歳末たすけあい事業・・・・・・・・・・ P. 16

### 第3 身近で相談できる体制づくり

1. 心配ごと相談所運営事業・・・・・・・・・・ P. 17
2. 在宅介護支援センター運営事業・・・・・・・・・・ P. 18
3. 行政及び専門機関との連携・協力・・・・・・・・・・ P. 18
4. 地域住民からの意見、提案、課題等収集・・・・・・・・・・ P. 18

### 第4 新たな課題に対応する取り組み

1. 社会貢献活動推進事業（青森しあわせネットワーク事業）・・・・・・・・・・ P. 18
2. フードバンクシステム活用事業・・・・・・・・・・ P. 19
3. 五所川原こども宅食おすそわけ便事業・・・・・・・・・・ P. 19

## 地域福祉活動を支える『基盤づくり』の強化

### 第1 広報・啓発活動の充実

1. 広報紙「社協ごしよがわら」、「声の社協」発行事業・・・・・・・・・・ P. 19
2. ホームページ運営事業・・・・・・・・・・ P. 20

### 第2 組織体制の強化

1. 法人（会務）の適正な運営・・・・・・・・・・ P. 20
2. 各部署定例会議の開催、職員の資質向上・・・・・・・・・・ P. 22
3. 地区社協や関係機関との連携・協働事業・・・・・・・・・・ P. 23

### 第3 財政基盤の確保・強化

1. 会員会費制度の周知と拡大・・・・・・・・・・ P. 23
2. 赤い羽根共同募金等の促進・・・・・・・・・・ P. 27
3. 有料広告の利用促進・・・・・・・・・・ P. 27
4. 各種助成等の状況・・・・・・・・・・ P. 27

#### 第4 指定管理者制度の取り組み

1. 五所川原市養護老人ホームくるみ園管理運営・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 28
2. 五所川原市地域福祉センター管理運営・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 29
3. 金木中央老人福祉センター管理運営・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 30
4. 生活支援ハウス管理運営・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 30
5. 五所川原市生き生きセンター・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 30

令和5年度 五所川原市社会福祉協議会 各種行事及び庶務報告・・・・・・・・ P. 31

市町村社会福祉協議会法制化40周年となった今年、五所川原市社会福祉協議会は法人事務局等を五所川原市生き生きセンターに移転して、日常的に住民往来がある施設を拠点に身近な存在感と地域福祉への理解の拡大に取り組みました。

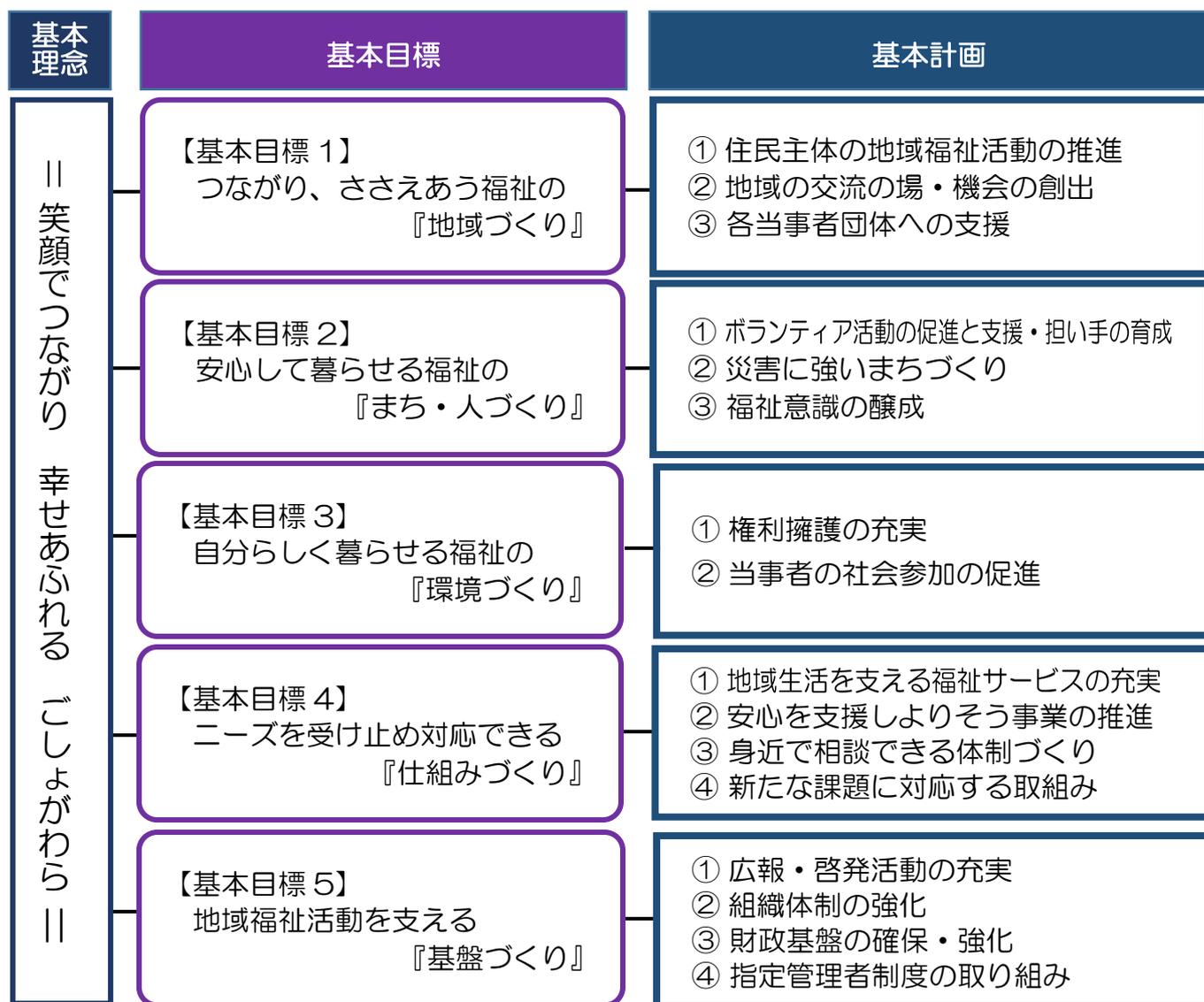
住民の生活課題が複雑・深刻化し、解決の糸口を見出せずに孤立するなど、従来の方法のみでは支援が困難な世帯が多い状況の中、今年度が最終年となった第2次地域福祉活動計画（ささえあいプラン）をもとに、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、各種活動を住民との協働で展開し、顕在化した新たな課題に多様な主体が連携して緊急の措置で生計等を支援する態勢も強化されました。

さらに、高齢者の健康増進と社会貢献等の複合目的をもって創設されたアクティブシニアポイント事業の普及推進に努め、新たな資源の開拓や共に支える意識が醸成されました。

また、地域コミュニティの大切さが近年頻発する地震や水害などに対する備えや新型コロナ禍の影響からも注目され、町内会見守り支え合い事業への関心も高まり始めました。

これらの取り組みを活かし「つなぐ」ことを意識した行動を基本に、解決への多様な連携と資源の開拓やつながりの再構築を根底とした第3次地域福祉活動計画（令和6年度からの取組）を策定し、基本理念「笑顔でつながり 幸せあふれる ごしょがわら」につなげました。

### 第2次五所川原市地域福祉活動計画【ささえあいプラン】体系図



## 【事業実施報告】

### つながり、ささえあう福祉の『地域づくり』の推進

#### 第1 住民主体の地域福祉活動の推進

##### 1. 地域見守り支え合い事業

見守り活動に果たす近隣住民の効果と役割を周知向上のため、町内会が主体的に訪問活動や緊急連絡網の構築、見守り環境の整備協議などを行い、要援護者を地域で包み込み異変の早期発見と支援につなぐ取り組みとして、下記の活動を実践した町内会に助成を行い、地域ぐるみのネットワークづくりを推進した。(共同募金配分金活用/助成総額 1,390,900 円)

(1) ふれあいほっとサロン事業

近隣者交流等による、特に高齢者等の閉じこもり防止や健康増進等を目的に、集会所等での交流・仲間づくり活動(地域サロン運営)の展開に12町内会が取り組む。

(2) 除排雪たすけあい事業

除雪に不安を持つ高齢者世帯等に対し、14町内会が見守り活動の一環として除排雪支援に取り組み、冬期の交流や安心して暮らせる住民相互のたすけあい活動を実施。

(3) ふれあい交流会開催事業

近隣者との顔なじみの関係づくりが災害時救援にも効果的であることから、誰もが参加できる祭り、健康体操、ゲーム会等で住民相互の世代間交流を22町内会が実施。

(4) その他の福祉活動事業

町内会特有の個別課題を解消して誰もが安心して暮らせる地域を目指し、町内清掃、草刈り、ゴミ出し支援等に取り組む先駆的活動を9町内会が実施。

#### 【事業実施町内会】

	団体名	(1)	(2)	(3)	(4)		団体名	(1)	(2)	(3)	(4)
1	小曲町内会			○		15	稲実団地町内会			○	○
2	山道町町内会			○		16	東松島町内会		○	○	
3	七ツ館町内会					17	下平井町内会	○		○	
4	梅田町内会			○		18	尻無町内会				○
5	みどり町8丁目町内会	○	○	○	○	19	若葉第一町内会			○	
6	吹畑町内会		○			20	中平井町町内会			○	
7	広田町内会	○		○	○	21	浅井町内会	○	○	○	
8	藻川自治会	○	○	○	○	22	南新町内会			○	
9	芦野町町内会		○	○	○	23	磯松町内会	○	○	○	
10	朝日町1区	○	○			24	松島町2・3丁目町内会	○		○	○
11	坂の上町内会		○	○	○	25	南新町町内会		○	○	
12	寺町振興会		○	○		26	みなみ広田町内会	○		○	
13	末広町町内会	○	○	○	○	27	宮田町内会		○		
14	みどり町7丁目町内会	○				28	沢部町内会	○	○	○	
							計	12	14	22	9

## 2. 地域における共助の基盤づくり事業

住民が主体的に実施する見守りや支え合い活動の強化育成及び支援等を行い、地域における見守り活動推進を図った。

### (1) 見守りネットワーク推進事業

地域住民、とりわけ要援護者の見守りを強化するため、民生委員・児童委員、地区社協、町内会等の関係機関との連携と情報共有を図った。近隣の見守りや異常を発見した際の連絡体制の構築に繋げた。各地区代表者が参集した全体会議「地区社協連絡会」を開催し、効果的な活動が推進できるよう、情報交換や課題解決・協議を行った。

### (2) 見守り活動にかかわる普及・啓発事業

見守り活動の説明や重要性、地域の課題についての意見交換や協議を各地区に促し、住民による見守り意識の高揚に資するパンフレット等配布で支援した。

### (3) ボランティア活動促進事業

ボランティア活動の促進と安全確保等を目的に、協力員の保険加入助成を実施した。

## 3. 五所川原市社会福祉法人等連絡協議会運営事業

社会福祉法人等が協働しての社会貢献活動を目的に組織され、力強い地域連携体制を基に「五所川原子ども宅食おすそわけ便」を継続実施した。さらに、地域の新たな課題と地域情報を共有するためにイブニングミーティングを2会場で実施し、地域実態の理解を深め今後の活動を模索した。

## 4. 第3次五所川原市地域福祉活動計画の策定

市民アンケート調査や福祉ニーズのヒアリング、パブリックコメントを実施し、市民の声、ニーズが反映された計画づくりに取り組んだ。

社協の原点である「地域福祉の推進」という基本に立ち返り、人や地域、多様な主体と新たにつながりを強くし、広め、さまざまな関係機関などつながり続けることを目的に、令和6年度から5年間の活動計画を策定した。

## 第2 地域の交流の場・機会の創出

### 1. 生活支援体制整備事業

日常生活に何らかの支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って生活を継続できるよう、困りごととサービスのコーディネートを行い、生活支援等サービスの提供体制整備を推進する目的で実施。

#### (1) 生活支援・介護予防サービスのコーディネート等に関する業務

各種主体が実施するサロン等に参加し、その様子や参加者の生活の様子を把握、ニーズの聞き取りを実施。また、生活支援コーディネーター情報交換会を毎月行い、ニーズに対応する資源の創出を工夫協議した。

さらに、民生委員の情報提供や同行協力を得て、町内会関係者への聞き取り活動や、住民の声を直接聞くことができ、今後の支援体制への検討を行った。

#### (2) サービス、支援の担い手となるボランティア等の養成に関する業務

サービスの担い手となるボランティア養成講座は実施できなかったが、想定活動の例や身近でできるボランティア等について理解を深める資料配布等で、意識高揚を図った。

#### (3) 社会福祉法人、地区社協、NPO法人、ボランティア団体、老人クラブ等多様な主体間での情報共有及び連携・協働に関する業務を推進。生活支援コーディネーター通信「こもれば通信」を発行、毎戸配布して事業周知を図った。

## 2. ふれあいいきいきサロン

高齢者や子育て世代等が地域や生活空間の中で、元気に暮らし続ける環境づくりのため、集会所等を利用して、生きがいや仲間づくりの輪を広げる活動に助成して支援した。

※共同募金配分金活用

団体名	開催回数（延べ人数）
若葉いきいきサロン	11回（180人）
ザ・田町栄町元気教室	15回（301人）
上中柏木なかよし会サロン	12回（61人）
Family café あづま〜る	11回（350人）
なんでもかだるべし〜うら	9回（310人）
憩いの広場ここまる	11回（530人）
いきいきサロン三好	14回（236人）
梅泉茶話会	8回（157人）
計	91回（2125人）

## 3. ひとり暮らし高齢者のつどい実施事業

ひとり暮らし高齢者等が安心して豊かに暮らせる環境づくりのため、地区社会福祉協議会が主体となった地域や近隣の見守り機能を高める住民活動を推進した。地域ごとに多様な協力者を開拓し、孤立防止と相互支援の連携強化が図られた。

地区名	実施日	参加者
第一地区社協	令和5年12月4日	170名
中央地区社協	令和5年9月24日	140名
松島地区社協	令和5年11月24日	49名
三好地区社協	令和5年9月2日	86名
中川地区社協	令和5年11月2日	19名

※参加人数は関係者含む

## 第3 各当事者団体への支援

### 1. 各当事者福祉団体への支援（事務委託事業）

#### （1）五所川原市ボランティア連絡協議会

加入団体が連携協力及び情報交換等各団体の充実等を目的とし、ボランティア活動への参加促進と地域福祉向上のための事務運営を援助した。

- NPO 法人ごしょがわら恵鈴会      ○NPO 法人子どもネットワーク・すてっぷ
- NPO 法人ほほえみの会      ○五所川原手話サークルひまわり
- ちゃぺの会      ○チョコラの会      ○PAPAHUG（パパハグ）
- お昼を食べる会      ○若葉いきいきサロン      ○西北五介護タクシー
- 個人加入：3名      《加入団体（個人）：10団体、3個人》

#### （2）五所川原市共同募金委員会

赤い羽根共同募金運動及び歳末たすけあい運動を支援し、本会及び民間社会福祉団体の事業充実・発展の活動資金募集の啓発を図り、地域住民の理解・協力体制づくり活動を推進した。

### 【赤い羽根共同募金運動】

赤い羽根共同募金運動は、社会の変化の中、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する「じぶんの町を良くするしくみ」として、全国的に取り組まれる活動であり、自らが参加する地域づくりを促進し、福祉社会実現のための多様な活動を支援する役割を果たすための活動を推進した。昨年度に続き、好評だった五所川原市 PR キャラクター「ごしょりん」と赤い羽根をデザインした令和 5 年度版オリジナルピンバッジを製作し広く協力を呼びかけ、協力を得られた。

### 【歳末たすけあい運動】

歳末たすけあい運動は、歳末時期において地域住民やボランティア、各種福祉関係者等の協力のもと、年末年始の支援を必要とする方々へ、地域の実情に応じた様々な福祉活動を重点的に展開することができた。

### 【募金実績】

戸別募金	¥5,551,940	各世帯からの募金
大口募金	¥808,400	法人・個人 155 件
街頭募金	¥41,789	10 月初旬にエルムの街や金木タウンセンター等を拠点に各所で募金運動を実施
職域募金	¥104,863	一般企業、県民局を含む行政等の各種団体及び個人からの募金
学校募金	¥120,753	市内の小・中・高等学校からの募金
その他	¥193,423	「ごしょりん」ピンバッジ等
小 計	¥6,821,168	
歳末たすけあい募金	¥1,259,898	各世帯からの募金
合 計	¥8,081,066	

### 【令和 5 年度配分金を活用した各事業】

- ① 「社協ごしょがわら」広報啓発事業
- ② 地域見守り支え合い事業（町内会助成）
- ③ 五所川原市社会福祉大会
- ④ 福祉体験学習
- ⑤ ケア付き立佞武多「夢かなえ隊」
- ⑥ 愛の輪レクリエーション大会
- ⑦ 地区社協運営推進事業

### (3) 五所川原市身体障害者福祉会

五所川原市に居住する身体障がい者が自ら進んでその障がいを克服し、より一層福祉推進を図るため、相互友愛の精神に基づいて社会経済活動に参加するとともに、会員相互の親睦と密接な組織活動を促進し、社会福祉向上に貢献することを目的とする事務運営を援助した。

- 【活動実績】○役員会 2 回、総会 1 回  
○交通安全マスコット配布（立佞武多の館）  
○レクリエーション 3 回（研修会 2 回、交通安全マスコット作り 1 回）  
○西北五つがる身障福祉懇談会の参加  
○会員研修会（深浦町）（会員 18 名）

### (4) 西北五手をつなぐ育成会

五所川原市に居住する知的障がい者の相互扶助の理念に基づき、生活の確立と向上、親睦交流、育成と福祉の推進を図ることを目的とする事務運営を援助した。

五所川原市主催の「地域の障害福祉関係団体及び事業者の広報イベント」において、障害を持つ方の作品を展示。

（会員 14 名）

(5) 五所川原市母子寡婦福祉会

五所川原市に居住する母子寡婦の福祉のため、相互扶助の理念に基づき、生活の確立と向上、親睦交流を図ることを目的にする事務運営を援助した。

会員への食品等配布をするおすそわけ活動、会員の子への卒業進級祝い、青森県母子寡婦福祉大会（開催地：つがる市）への参加等を行った。（会員数 24 名）

(6) 五所川原市老人クラブ連合会

老人クラブ普及発展を図り、広く老人の親睦と福祉の増進に資することを目的にする事務運営を援助した。

新規活動で若者との世代間交流「わくわく交流会」を年 4 回開催（会員 25 名、高校生 18 名参加）、手軽なフレイル予防として「セラバンド健康教室」を年 2 回（会員 17 名参加）実施したほか、「いきいき運動会」「芸能大会」を継続した。研修会では、つどいの場の開設運営を学び、世代間交流に役立つ TV ゲームを使った運動体験を行った。

2. 小規模地域ネットワーク・福祉団体活動費助成事業（地区社協活動費）

地域の福祉ニーズに即した細かな事業活動の展開にあたり、地区社協及び住民参加によって活動する福祉団体等に対して助成金等を交付し、地域福祉の向上を推進した。

【地区社会福祉協議会助成額（活動費と育成額の合計）】

地区社協	金額（円）	地区社協	金額（円）
第一地区	484,940	長橋地区	121,720
中央地区	611,060	松島地区	283,000
栄地区	296,000	飯詰地区	113,660
梅沢地区	77,430	中川地区	120,800
七和地区	138,640	三好地区	164,600
毘沙門長富地区	0	計	2,411,850

【福祉団体助成金額】

団体名	金額（円）	団体名	金額（円）
市身体障害者福祉会	35,000	五所川原手話サークルひまわり	10,000
市母子寡婦福祉会	25,000	五所川原点訳朗読奉仕会	10,000
市民生委員児童委員連絡協議会	25,000	五所川原地区保護司会	10,000
五所川原地区更生保護女性会	10,000	西北五視力障害者福祉会	15,000
		計 8 団体	140,000

【つがる西北五社会福祉協議会職員連絡会助成金】

つがる西北五地区の 6 市町社協職員が相互の情報交換や各種研修を行い、圏域の地域福祉活動充実が図れるよう 15,000 円を助成。つがる西北五社会福祉協議会事務局長連絡会との連携協議を経て、広域的な協働事業の展開、管内社協職員が研鑽と交流を図った。

## 安心して暮らせる福祉の『まち・人づくり』の育成

### 第1 ボランティア活動の促進と支援、担い手の育成

#### 1. 五所川原市ボランティア・市民活動センター運営事業

ボランティア活動振興を目的に、相談や支援の充実、情報提供及び関係団体との連携のもと、幅広い年代に、市民の福祉意識の高揚とボランティア活動への積極的な参加を促した。

また、市内のボランティア団体・市民団体の活動内容等を記載したチラシを作成し、市民へ広く情報を提供。ボランティア活動の理解と啓発を推進し、希望者への配布を実施した。

##### (1) ボランティア活動の支援・調整・普及

- |                 |                         |        |
|-----------------|-------------------------|--------|
| ① こども宅食おすそわけ便   | 内容：食材配達、会場設営・運営         | 回数：10回 |
| ② 出張サンタクロース     | 内容：プレゼント受け渡し補助や見守り      | 回数：1回  |
| ③ 社会福祉法人和晃会     | 内容：八晃園1日限定ショップ          | 回数：1回  |
| ④ 老人クラブ連合会      | 内容：「わくわく交流会」で学生V0と会員の交流 | 回数：4回  |
| ⑤ 街頭募金活動        | 内容：能登半島地震に係る災害義援金の街頭募金  | 回数：1回  |
| ⑥ 日本てんかん協会青森県支部 | 内容：講習会の受付や会場設営          | 回数：1回  |
| ⑦ 声の社協          | 内容：広報「社協ごしょがわら」の朗読      | 回数：6回  |

##### (2) ボランティア保険の加入促進

- ・ボランティア活動保険 29団体 532名
  - ・ボランティア総合補償 4団体 31名
  - ・ボランティア行事用保険 53団体 1,738名
- 加入者総計 86団体 2,301名

##### (3) 収集ボランティア事業（アルミ缶・プルタブ回収）

日付	重量	換金額	日付	重量	換金額
6月8日	193 kg	¥4,925	9月20日	60 kg	¥1,670
7月31日	164 kg	¥3,695	2月8日	237 kg	¥6,106
			合計	654 kg	¥16,396

##### (4) 収集ボランティア事業（エコキャップ回収）

本会に寄せられ回収したキャップは、運搬輸送協力企業の協力を経て換金し「特定非営利活動法人世界の子どもにワクチンを日本委員会」に送金した。そのお金17,351円（1,735kg）は、ユニセフと連携し、開発途上国の子どもたち、おおよそ867人分のワクチン、1人分は約¥20（小児まひ、はしか、おたふくかぜ、結核、破傷風など）に使用された。

（昨年より3割増）

##### (5) イベント用備品・物品の貸し出し

各種団体等の活動促進を目的に、行事やイベントで活用する本会が所有する備品・物品を、延31件、計61点の機材を貸し出しした。

《主な貸出物品》輪投げ、玉入れ、サンタ衣装、わたあめ機、プロジェクター等

#### 2. アクティブシニアポイント事業

高齢者等の健康維持と社会参加を図り、特に福祉事業等の内容を豊かにできる活動に結びつける事業として五所川原市が今年度創設。その一部を本会が受託し、説明研修会を4回開催、31名が登録した。会員登録後に利用者支援の対象ボランティア活動（11事業所）に参加してポイント付与を受けた。様々な活動で生きがいや健康増進、活動の充実が図られ、地域活動の新たな担い手として期待が高まった。

##### 【説明会・研修会】

8/21（14名参加）、9/27（8名参加）、10/24（9名参加）、10/26（施設説明会）

※登録会員数 31名、登録施設数 11施設

### 3. ボランティア養成講座実施事業

ボランティア活動や福祉教育に地域住民が参加できる機会を広げ、地域とのつながりや共助の意識を高めることを目的にボランティア養成講座の開催を検討したが、実施時期の感染状況等の状況により中止した。

## 第2 災害に強いまちづくり

### 1. 五所川原市災害ボランティアネットワーク事業

ボランティア・市民団体調査において、調査対象 53 団体中、21 団体が災害ボランティア活動への協力を強く意識しており、「災害時におけるボランティア活動に関する協定」（平成 25 年 11 月 25 日付締結）を円滑に実践できるよう、平時から各団体等とのネットワーク構築を図った。

### 2. 福祉避難所の受け入れ態勢整備事業

「福祉避難所の確保に関する協定」（平成 25 年 9 月 25 日付締結）により、災害発生時に市の要請で特別な配慮を要する援護者の避難先となる「福祉避難所」を機能できるように、下記の施設（指定管理施設）において受け入れ体制整備を継続して実施した。

- ① 五所川原市養護老人ホームくるみ園
- ② 五所川原市地域福祉センター
- ③ 金木中央老人福祉センター
- ④ 金木生活支援ハウス
- ⑤ 市浦生活支援ハウス

## 第3 福祉意識の醸成

### 1. 第 66 回 五所川原市社会福祉大会

令和 5 年 10 月 21 日（土曜日）に、ふるさと交流圏民センターオルテンシアで約 500 人が参加して開催。「置かれた場所で夢を叶える～地方活性化アイドル達の挑戦～」と題した樋川新一氏の講演では、地域を盛り上げるその実践の背景にある「逆転の発想」を丁寧に語り、福祉のまちづくりに活かせる熱い思いに来場者が心を動かされた。社会福祉活動等に功績のあった方々に表彰状、感謝状を贈り、ねぎらいと一層の活動継続、地域福祉推進の契機とした。各種施設の事業理解を促す展示販売ブースを併設した。

《表彰内訳》表彰の部 11 個人、特別感謝の部 1 個人、感謝の部 26 団体・3 個人

### 2. ふくし出前講座実施事業

前年度より学校が 3 校、地域団体 4 団体が新規の講座開催につながり、のべ 732 人（150 人増）が受講し、児童・生徒や町内会や各種団体の社会福祉に対する関心拡大に応じた。講座には福祉教育サポーターが協力し、ボランティア活動も広がった。

	開催日	学校名	参加人数	内容
ふくし 出前 講座	6月5日	五所川原工科高校	300	車いすバスケット体験とお話
	9月4日	松島小学校	10	福祉ってなんだろう
	9月19日	南小学校	31	アイマスク体験
	9月20日	五所川原第二中学校	20	高齢者疑似体験、車いす体験
	9月22日	南小学校	31	車いす体験
	10月6日	松島小学校	11	高齢者疑似体験
	10月11日	栄小学校	53	高齢者疑似体験、アイマスク体験
	10月19日	東峰小学校	16	福祉ってなんだろう
	10月31日	松島小学校	11	車いす体験
	11月7日	南小学校	31	高齢者疑似体験
	11月13日	栄小学校	53	福祉について学ぶ
	2月7日	東峰小学校	15	点字体験

地域向け	5月15日	金木地区婦人会	30	介護予防サロン（脳トレ等レク）
	5月22日	はなや嘉会	30	介護予防サロン（脳トレ等レク）
	5月27日	沢部町内会	15	介護予防サロン（脳トレ等レク）
	7月22日	沢部町内会	15	介護予防サロン（脳トレ等レク）
	10月18日	田園町和好会	15	介護予防サロン（脳トレ等レク）
	11月6日	蒔田老人クラブ	20	認知症って何？
	11月28日	ごしょつがる農業協同組合	25	認知症への対応・車いす操作

## 自分らしく暮らせる福祉の『環境づくり』の推進

### 第1 権利擁護の充実

#### 1. 権利擁護センターごしょがわら運営事業

地域において判断能力に不安があり支援を要する方の権利擁護に関し、関係機関・関係者がネットワークを構築し、本会が実施する権利擁護事業の適正化や地域住民の権利を護るための方法、制度活用等の支援体制を構築。成年後見支援センターごしょがわらと連携し、成年後見制度利用促進委員会の検討・専門的判断会議において、要検討案件12ケースについて対象者の権利擁護支援を検討。市民のための権利擁護支援の地域連携ネットワークの構築と専門性・複雑性が増してきている案件への方針打ち出しは今後も重要となる。

##### (1) 日常生活自立支援事業

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方を対象に、日常生活における福祉サービスに関する情報提供や利用するための援助、それに付随した日常的な金銭管理等の支援を行い、家族や関係機関との連絡調整を図りながら、利用者支援を実施。生活支援員が、日々の相談対応・支援活動を行い、安心した日常生活を支援した。

##### 【管内市町別利用相談・問合せ及び支援内容相談件数】

市町村名	相談援助件数（本事業の利用に関するもの）				合計
	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	不明・その他	
①五所川原市	443	58	276	52	829
②中泊町	18	0	0	3	21
③鶴田町	14	33	54	0	101
相談援助件数	475	91	330	55	951

##### 【会議・研修・管内巡回指導実施状況】

- |              |                     |     |
|--------------|---------------------|-----|
| 1. 情報交換会：    | 支援活動における生活支援員との打合せ等 | 12回 |
| 2. 県社協主催研修会： | 専門員・生活支援員研修会        | 1回  |
| 3. 県社協主催会議：  | 基幹的社協連絡会議           | 3回  |
| 4. 広報啓発活動：   | FMごしょがわら「Gラジ」出演     | 1回  |

##### 【契約締結状況】

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	不明・その他	計
実利用者数	53	6	23	3	85
五所川原市	50	5	21	3	79
中泊町	2	0	0	0	2
鶴田町	1	1	2	0	4
年度契約件数	13	1	3	1	18
			(内、生保世帯数)		(11)
終了件数	20	1	2	2	25

## (2) 成年後見事業

成年後見制度による成年後見人等の選任が必要と判断された方に対し、その受任体制を確立。制度活用のための相談受付及び家庭裁判所の成年後見人選任審判に基づく、成年後見人等を法人として受任し、被後見人等の財産管理や身上監護等による権利擁護支援を実施した。後見支援員6名の委嘱を継続し、受任要請の増加に対応できる体制を構築した。

- 令和5年度末受任件数 15件 (内、後見類型：9件 保佐類型：6件)
- 令和5年度報酬付与申立て 16件 (内、成年後見制度利用支援事業申請：4件)

## (3) 財産安心サポート事業

高齢者や障がい者が保有する財産に関し、利用者と本会との契約により、その適正な保全確保を目的とし事業を展開。財産を貸金庫で保管を行う「財産保全サービス」及び契約者逝去後の事務処理を行う「死後事務委任契約」の業務を実施した。

- 財産保全サービス ・新規契約数：0件 ・年度末利用者数：0名
- 死後事務委任契約 ・新規契約数：1件 ・履行件数：2件 ・年度末契約者数：4名

## 2. 西北五圏域（五所川原市・つがる市・鶴田町）権利擁護センター

### (1) 権利擁護支援の相談機能

中核機関が専門職などと連携して、権利擁護支援の方針を検討した。その方針に基づき、成年後見制度の申立方法や適切な後見人等候補者を調整しながら、本人を支える権利擁護支援チームの体制を構築した。

#### ① 専門的判断会議の実施 13件 ※重複している案件あり

- 第1回 令和5年5月31日（五所川原市2件）
- 第2回 令和5年6月28日（五所川原市3件）
- 第3回 令和5年10月12日（五所川原市2件）
- 第4回 令和5年11月10日（鶴田町2件）
- 第5回 令和5年12月15日（五所川原市2件、鶴田町1件）
- 第6回 令和6年3月19日（五所川原市1件）

#### ② 検討結果

- 成年後見制度の利用 5件
  - 申立：親族申立2件 首長申立3件
  - 候補者：法人3件、弁護士・親族との複数後見1件、社会福祉士1件
- 成年後見以外の権利擁護支援へのつなぎ 4件
  - 日常生活自立支援事業の利用 2件
  - 債務整理支援 1件 障害福祉サービス検討 1件
- その他 3件
  - 再度親族での話し合い 2件
  - 必要性が認められるも再検討 1件

### (2) つがる西北五圏域権利擁護研修会

権利擁護に関する相談窓口が各地域にあることを本人・関係者・地域住民に周知し、速やかに必要な支援に結び付けることができた。また、地域住民や関係者が権利擁護支援の必要性や成年後見制度の効用等について理解できるよう周知啓発していく。

- 研修会等での周知 4回
- 研修会の開催 2回

## 第2 当事者の社会参加促進

### 1. 五所川原市愛の輪レクリエーション大会

障がいをお持ちの方々の理解や交流を図る目的のもと、地域住民やボランティアが一堂に集い、レクリエーションを通じて交流した。例年は一回のみの開催であったが、目的効果をさらに強化するために、9月16日と令和6年2月10日に趣向を変えて2回開催とした。のべ参加者200名がゲームや歌、ダンスなどでゆったり自由に楽しみ交流した。

ゲームのサポートをしたり、共にプレーしたりする場面が随所に見られ、和やかに過ごした。

### 2. ケア付き立佞武多実施事業

誰もが地域を代表する祭り五所川原立佞武多に参加出来るような支援を通じてノーマライゼーション意識を高めつつ、「参加したい」と願う在宅の障がい者等の希望実現を支援した。「夢かなえ隊」という名称のもと、参加者63名及びボランティア10名は疲労感とともに満足感を話し、広く障がい者への理解を深めた。

## ニーズを受け止め対応できる『仕組みづくり』の充実

### 第1 地域生活を支える福祉サービスの充実

#### 1. 介護福祉事業（介護予防・日常生活支援総合事業）

介護保険法における介護サービス提供事業として、本会の特性・特色を活かした関係事業を推進。次に掲げる各事業において介護サービスを提供した。

##### (1) 居宅介護支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業含む）

高齢者がその身体状態が要支援及び要介護認定を受けた場合において、その利用者が可能な限り、その居宅においてその有する能力に応じて、自立した日常生活を営むことが出来るよう、心身状況、環境、利用者や家族の希望等を考慮し、介護支援計画の作成に努めるとともに、その他の介護に関する専門的な相談へ対応を行った。また、保険者からの受託事業として、介護支援専門員による被保険者の要介護認定調査業務等を履行した。

【居宅介護支援事業利用者及び要介護認定調査件数】 ※（内、予防）は、介護予防利用人数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
五所川原	利用者人数	106	106	111	114	114	114	120	125	121	123	123	120	
	（内・予防）	24	23	25	26	26	25	26	30	29	28	29	27	
	認定調査	5件	4件	7件	5件	4件	6件	6件	6件	5件	7件	6件	4件	65件
金木	利用者人数	114	116	113	111	113	110	108	108	106	107	102	101	
	（内・予防）	21	22	20	18	18	16	16	16	16	16	17	16	
	認定調査	7件	5件	6件	5件	6件	5件	7件	7件	4件	8件	7件	6件	73件
市浦	利用者人数	58	58	58	58	55	57	63	59	61	62	61	61	
	（内・予防）	14	14	14	14	15	18	17	17	18	16	17	18	
	認定調査	3件	0件	1件	0件	0件	0件	1件	0件	0件	0件	0件	0件	5件

(2) 訪問介護事業（日常生活支援総合事業含む）

指定訪問介護事業の適正な運営を確保し、訪問介護員が要介護・要支援又は事業対象の高齢者等に対し、入浴・排泄・食事等の介護、及び調理・洗濯・掃除等の家事、その他必要な生活上の援助を提供し、利用者が地域で安心した生活を維持できるよう支援を行った。

サービスの需要に応えつつ、人員や体制の強化を図る目的のもと、金木事業所を五所川原事業所に統合する検討を行った。（市浦事業所は令和3年6月より金木事業所に統合）

【訪問介護事業利用者推移及び実績】 ※介護保険、総合事業は、各制度別の利用人数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
五所川原	介護保険	39	35	36	39	40	35	43	35	40	40	38	35	
	訪問回数	310	324	273	289	299	268	290	284	308	326	313	288	3,572回
	総合事業	29	26	26	26	26	28	28	30	32	33	33	33	
	利用回数	163	163	159	158	160	160	159	181	175	190	185	177	2,030回
金木	介護保険	48	40	44	42	42	38	46	42	40	40	34	37	
	訪問回数	292	241	190	203	189	195	204	182	181	175	148	160	2,360回
	総合事業	17	16	13	12	12	10	13	12	11	12	12	13	
	利用回数	88	96	83	71	66	54	83	76	64	66	49	54	850回

(3) 通所介護事業（日常生活支援総合事業含む）

この事業所が行う指定通所介護及び日常生活支援総合事業は、要介護状態等となった場合においても、その利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることを目的とし、適正なサービスを提供した。

【通所介護事業利用者推移及び実績】 ※介護保険、総合事業は、各制度別の利用人数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
五所川原	介護保険	44	48	46	45	45	45	44	44	47	46	46	45	
	提供回数	422	465	442	491	411	456	443	424	350	398	431	447	5,180回
	総合事業	30	30	29	31	32	58	31	31	31	29	29	28	
	提供回数	166	176	158	193	171	152	168	171	137	148	149	154	1,943回
金木	介護保険	60	60	61	65	65	63	66	64	61	54	51	79	
	提供回数	485	499	501	541	510	506	531	518	453	395	373	567	5,879回
	総合事業	36	36	35	32	32	29	27	25	26	25	27	28	
	提供回数	200	226	205	196	167	160	147	146	156	148	157	178	2,086回
市浦	介護保険	32	32	34	31	27	30	32	31	30	31	31	31	
	提供回数	259	287	279	265	245	200	263	258	251	239	240	228	3,014回
	総合事業	16	16	16	15	17	18	16	16	18	16	17	18	
	提供回数	68	79	79	64	81	75	90	86	79	75	88	93	957回

#### (4) 高齢者生きがい活動支援通所事業 実施状況

前記の通所介護事業に並行し、高齢者の自立を助長する介護予防を目的とした、軽スポーツや趣味活動を取り入れたプログラムによる豊かな生活のための支援を実施した。

##### 【高齢者生きがい活動支援通所事業利用者推移及び実績】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
五所川原	利用者人数	1	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	
	提供回数	4	5	4	4	3	0	0	4	4	0	0	0	28回
金木	利用者人数	4	4	4	4	4	4	4	5	3	4	4	4	
	提供回数	14	18	17	16	14	14	14	18	11	13	15	15	179回
市浦	利用者人数	1	2	2	2	3	3	4	3	2	2	2	3	
	提供回数	4	6	9	11	8	7	8	8	8	6	8	10	93回

## 2. 支え合い支援事業（保険適用外介護事業）

日常生活に支援を要する利用者の、制度では適用できない介護サービス及び障害福祉サービスなどに対するニーズ充足のため、制度外での支援提供体制を整え、柔軟な対応による安心した生活が維持できるよう支援を行った。利用は居宅サービス計画及び障害者支援計画において、制度外サービスとして適正な位置づけによるものとした。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
五所川原	利用者人数	4	6	3	4	3	5	3	4	4	5	3	4	
	提供回数	5	7	6	5	10	9	5	7	6	7	5	7	79回
金木	利用者人数	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
	提供回数	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3回
市浦	利用者人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	提供回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0回

## 3. 障害者総合支援事業

障がいの有無にかかわらず、互いに人格と個性を尊重し、安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目指し、障がいがある方の日常生活と社会生活を総合的に支援するという趣旨の下、障害者総合支援施策において、障がい者の生活全般にわたる支援を目的に必要とする次の事業を展開した。

### (1) 計画相談支援事業・基本相談支援事業

計画相談支援事業において障がい者の利用する障害福祉サービスの内容等を、心身の状況及び環境、利用者や家族の希望等を考慮し「サービス等利用計画書」を作成及び支援。サービス利用開始後においても、一定期間ごと利用状況が適切であるかを検証し、必要に応じた計画変更手続き等を適切に履行。また、基本相談支援事業では、一般相談窓口において障がい者からの相談の受付体制を整え、必要な対応もしくは情報提供や助言・社会資源利用の調整等随時実施したが、取り扱い数としては計上していない。

#### 【計画相談支援利用件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1) 計画相談支援	6回	4回	6回	2回	4回	5回	5回	6回	4回	4回	6回	4回	56回
2) 基本相談支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 居宅介護・重度訪問介護事業

指定居宅介護事業所として「障害者総合支援法」に規定する適正な運営を確保し、事業所従事者が居宅支給決定を受けた利用者（児童福祉法にあっては障害児）に対して、入浴・排泄・食事等の介護、調理・洗濯・掃除等の家事、生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話をを行う適正なサービスを提供した。

【居宅介護・重度訪問介護事業利用者推移及び実績】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
五所川原	利用者人数	27	24	24	24	26	23	23	24	20	20	20	21	
	提供回数	199	188	189	184	182	166	159	147	155	141	143	142	1995回
金木	利用者人数	5	6	5	6	5	7	4	6	5	6	4	6	
	提供回数	10	12	8	12	9	13	8	13	11	11	7	14	128回

(3) 同行援護事業

視覚障がいにより移動に著しい困難を有する障がい者等に対して、外出時における同行・移動の援護、排泄及び食事の介護、代読代筆等、生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話をを行うことで、外出する際の適正なサービスを提供した。

【同行援護事業利用者推移及び実績】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者人数		7	8	8	9	8	8	9	8	8	8	9	8	
提供回数		41	34	34	41	39	37	40	36	36	32	40	39	449回

(4) 障害者デイサービス事業

在宅障がい者の自立・身体機能の維持向上を図り、社会参加の促進等を目的とし、送迎・入浴・排泄・食事等の介護、生活等に関する相談・助言、健康状態の確認、その他必要な日常生活上の世話や機能訓練、利用者が楽しく過ごせるプログラムを提供。

【障害者デイサービス事業利用者推移及び実績】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
五所川原	利用者人数	2	2	2	2	3	3	3	2	2	2	3	3	
	提供回数	25	28	23	26	34	33	33	29	21	28	35	32	347回
金木	利用者人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	提供回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0回
市浦	利用者人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	提供回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0回

(5) 障害者移動支援事業

屋外移動が困難な重度障がい者に対し、外出時における移動の支援を行うことにより、地域における自立生活及び社会参加の促進を提供した。（主な内容：ガイドヘルパー）

【障害者移動支援事業利用者推移及び実績】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者人数		3	3	3	4	3	3	3	3	4	3	4	3	
提供回数		3	5	9	5	6	8	4	6	9	4	8	5	72回

#### 4. 放課後児童健全育成事業

市受託事業として、地域福祉センターにおいて「ふれあいハウスひまわり」の名称で、児童の健康増進・情操を豊かにするねらいのもと、放課後の学びや遊びを主とした健全育成の機会及び総合的な拠点としての機能を活かし、一般住民・高齢者等が集えるという地域福祉センターという特色を生かした地域に開かれた憩いの場所・場面作りを展開した。

##### 【放課後児童健全育成事業登録児童数推移及び利用実績】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
登録児童	63	64	65	72	73	71	71	72	72	72	72	72	
低学年	309	397	436	444	359	402	432	404	397	353	395	356	4,684名
高学年	140	108	143	178	176	89	117	86	111	123	58	49	1,378名
延べ利用	449	505	579	622	535	491	549	490	508	476	453	405	6,062名
開設日数	24	24	26	25	26	24	25	24	24	23	22	25	292日
(内土曜)	4	4	4	5	4	5	4	4	4	4	3	5	50日

## 第2 安心を支援しよりそう事業の推進

### 1. 生活福祉資金貸付事業 実施状況

コロナ禍による緊急小口資金の事後対応や、所得者や高齢者、又は障がい者世帯等を対象に、資金の貸付と必要な指導援助を行い、経済的自立及び生活意欲の助長並びに在宅福祉の促進を図り、安定した生活を営める民生委員等と共に支援した。内容や状況により適正な専門機関・関係機関への引継ぎや情報提供等を含め、総合的な連携を図った。

※ 資金種類（年1.5%利子・保証人の有無・資金種類により無利子）

- ◇ 福祉資金・・・（福祉費（生業、技能習得、療養等）13項目、緊急小口資金）
- ◇ 総合支援資金・・・・・・・・・・（生活支援費・住居入居費・一時生活再建費）
- ◇ 教育支援資金・・・・・・・・・・（教育支援費・就学支度費）
- ◇ 不動産担保型生活資金・・・・・・・・（高齢である低所得世帯及び要保護世帯向け）

資金種類	相談件数	申込件数	決定件数
福祉資金・緊急小口資金	1件	0件	0件
総合支援資金	0件	0件	0件
教育支援資金	1件	1件	0件
不動産担保型生活資金	0件	0件	0件
計	2件	1件	0件

### 2. 五所川原市たすけあい資金貸付事業 実施状況

低所得世帯等で予想外の支出が見込まれるなど様々な要因から困窮している世帯を対象として、一時的な小口資金の貸付を行い、当該世帯の生活安定・支援を実施した。

※ 貸付限度額：50,000円（無利子）※ 償還期間：最大10ヶ月間（2ヶ月間の据置期間有）

※ その他 連帯保証人と民生委員の承認が必要

資金種類	相談件数	申込件数	貸付件数と金額	
生活資金	11件	9件	9件	335,600円
支度資金	0件	0件	0件	0円
貸付計	11件	9件	9件	335,600円
※ 貸付件数の取扱内訳 本所（10件）金木支所（0件）市浦支所（1件）				
※ 令和5年度償還完了件数：合計 6件（過年度及び当年度分）				
			償還金合計	255,600円

### 3. 緊急通報システム「福祉安心電話サービス事業」

高齢者及び高齢者世帯等、独居や障がい、病気などで不安を抱える方を対象とし、日常の相談通報と緊急時に連絡できる通報装置の設置と、近隣住民等による見守り体制の構築を図り、24時間緊急時対応という安心を提供する事業を実施した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用者数	29	28	28	26	24	23	22	21	21	22	22	22	
内、加入者数	1	1	1	1	1	0	0	0	0	2	0	0	7
内、退会者数	1	2	1	3	2	1	1	1	0	1	0	0	13

※退会理由については、施設入所や入院及び本人希望と家族同居のため等

### 4. 電話訪問サービス「お元気ですかコール事業」

「福祉安心電話サービス事業」利用会員へ、本人の希望により定期的な電話訪問を行い、健康状態や安否の確認、不安や孤独感解消を提供した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用者数	12	12	12	12	11	10	9	8	8	8	8	8	
訪問回数	46	52	49	61	35	36	27	27	30	32	27	32	延べ454回

### 5. 福祉用具貸与事業

低所得世帯や介護保険給付の対象外の高齢者等を対象に、車椅子や介護用特殊寝台を無償貸与することで、利用者の日常生活維持、介護者の負担軽減を目的とした事業を実施した。

	保有台数	貸出台数	返却台数	年度末実利用者数
車椅子	58	47	49	40
介護用特殊寝台	60	9	14	45

※介護用特殊寝台は貸出時に、マットレスクリーニング・搬入料として利用者負担有。

### 6. 福祉移送サービス事業（一般乗用旅客自動車運送事業）

外出が著しく困難な高齢者及び障がい者に対し、日常生活に必要な外出や社会参加、受診等を移送によって支援し、利用者の健康増進を推進した。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
五所川原	稼働日数	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243日
	ケア輸送延べ数	0	0	0	0	3	0	0	2	1	4	0	0	10件
	介護輸送延べ数	193	209	238	222	227	199	216	186	193	160	182	140	2,365件
金木	稼働日数	20	18	21	17	20	19	20	20	19	19	18	18	229日
	介護輸送延べ数	124	120	112	113	98	109	128	116	102	104	78	84	1,288件
	(内乗降介助)	8	10	10	10	8	6	8	4	6	8	8	6	92件

### 7. 地域歳末たすけあい事業

#### (1) 出張サンタクロース事業（NHK歳末たすけあい事業） 実施状況

一人親世帯の乳幼児（認定こども園等園児）を対象に、サンタクロースに扮したボランティアが、対象者宅へクリスマスプレゼントをお届けした。地域福祉センターに来場された子供たちは、サンタクロースと一緒に写真撮影も行った。地域福祉及び福祉活動への理解と関心を深め、児童福祉を推進した。

○ 実施日：令和5年12月23日(土)

○ 対象者：58世帯65人

## (2) 各地区社協等実施事業

各地区において、歳末に見合った行事や訪問活動など、地区のニーズや課題に応じた事業を展開した。活動にあたり、地区社協役員や民生委員・児童委員連絡協議会、町内会等と連携し、駐在所等関係機関の協力を得、対象者の健康状態や日頃の気になっていることなどの相談ごとの把握に努め、その解決に向けた取り組みにつなげている。

○ 実施期間：令和5年12月1日～12月31日

### 【地域歳末たすけあい 実施内容】

第一地区	高齢者世帯への見舞金贈呈事業 対象者：70歳以上独居世帯 170人 ◇ 協力員：民生委員等 27名
栄地区	お年玉プレゼント事業 対象者：75歳以上独居世帯 188人◇ 協力員：民生委員等 36名
梅沢地区	高齢者世帯への日用品贈呈事業 対象者：65歳以上独居世帯 52人 ◇ 協力員：地区社協・町内会長等 18名
七和地区	歳末たすけあい運動巡回訪問事業 対象者：75歳以上独居世帯、70歳上の支援を必要とする方 計 66人 ◇協力員：民生委員、地区社協、町内会長、七和駐在所 17名
長橋地区	達者で年越すそば事業 対象者：70歳以上独居世帯 44人 ◇ 協力員：地区社協等 16名
松島地区	高齢者世帯へのお年玉贈呈事業 対象者：77歳以上独居世帯 44人 ◇ 協力員：民生委員等 10名
飯詰地区	高齢困窮者への物資支援事業 対象者：70歳以上の在宅困窮者 23人◇ 協力員：民生委員等 26名
毘沙門 長富地区	高齢者世帯への歳末助け合い事業 対象者：80歳以上独居世帯 17人 ◇ 協力員：民生委員等 4名
中川地区	高齢者世帯への歳末品贈呈事業 対象者：70歳以上独居世帯 29人 ◇ 協力員：地区社協役員 15名
三好地区	高齢者および寝たきり世帯等への歳末粗品贈呈事業 対象者：70歳以上独居世帯、生活保護世帯、在宅寝たきり世帯（自宅で介助が必要な世帯）計 66名 ◇ 協力員：民生委員等 16名
金木地区	しめ縄づくり温か交流事業：ひとり暮らし高齢者等を中心に、子育て世代も含めた地域住民を対象とし、新年を迎えるためのしめ縄づくりで、相互の交流を図ることを目的に11月15日～12月22日の期間で実施。 旧金木町内：計5会場（参加計123名） ◇協力：五所川原市連合婦人会金木地区婦人会
市浦地区	お楽しみお食事会：ひとり暮らし高齢者を対象に、世代間交流や介護予防を行い、昼食を一緒にとりながら交流会を実施。20名参加。 ◇ 協力：なんでもかだるべし～うら、第七民児協

## 第3 身近で相談できる体制づくり

### 1. 心配ごと相談所運営事業

地域住民の日常生活における心配ごと相談に対応、直接的な助言及び内容に応じた関係機関への適切な引継ぎなどを実施、及び間接的には、電話転送システムを用いた24時間相談受付体制を加え、総合相談の役割を果たした。令和5年度の全相談受付件数は、127件の実績となった。

## 2. 在宅介護支援センター運営事業

在宅介護に関する総合的な相談・助言と情報提供等を行った。1) 介護保険事業全般 2) 権利擁護 3) 虐待問題 4) 介護相談 5) 医療・疾病などの相談を受け付け、利用者及びその家族の在宅福祉の向上を図ることを目的とし実施した。

※ 在宅介護支援センターは、五所川原市地域包括支援センターの協力機関として位置付け  
【在宅介護支援センター事業実績】

令和5年度	総合相談		実態把握		見守り依頼	ニーズ調査
	初回対応	継続・専門	当年度初回	継続		
五所川原市社会福祉協議会 在宅介護支援センター	19件	77件	12件	25件	0件	0件
金木在宅介護支援センター	40件	79件	18件	9件	0件	0件
市浦在宅介護支援センター	48件	162件	10件	32件	0件	9件
計	107件	318件	40件	66件	0件	9件
会議等 内容	地域ケア会議	計6回				
	協力機関業務連絡会	計6回				
	認知症フォーラム会議	計7回				

## 3. 行政及び専門機関との連携・協力

住民からのあらゆる相談に対応するため、他の社会資源と連携し、必要に応じて専門機関との情報共有等、個人情報保護を踏まえた情報提供を実施した。

※関連機関 ◇五所川原市（関連各担当部署） ◇青森県（西北地域県民局）  
◇関連する社会福祉協議会 ◇施設・当事者団体 など

## 4. 地域住民からの意見、提案、課題等収集

地域福祉活動推進のため、本会ホームページを活用し連絡先等を公開、相談受付体制整備や地域における市民団体・各企業等の調査、及び広報紙を通じた意見や要望等を募った。結果、電話・メールによる直接的な助言は、関連部署において事業検討時に取り上げ都度検討、一般的な質問等は「何でも相談」として受け付けし、必要に応じた対応を行った。

## 第4 新たな課題に対応する取り組み

### 1. 社会貢献活動推進事業（青森しあわせネットワーク事業）

青森県内の社会福祉法人が連携し、既存の制度やサービスでは対応できない課題に迅速に対応するために、支援が必要な人を早期に把握し、具体的な解決を図ることによって、社会福祉法人の使命を積極的に果たしていくことを目的とした社会貢献活動で、青森県社会福祉協議会が管理運営。この活動に参加する本会は、総合相談、経済的援助、ワークサポート、食糧等の提供など、様々な課題で支援が必要な方に幅広い支援を実施した。

#### 【会議・研修等実施状況】

月 日	内 容 等
令和5年5月23日	青森しあわせネットワーク令和5年度活動説明会 オンライン
令和5年6月27日	「みんなの居場所」ネットワークミーティング
令和5年7月7日	黒石こども食堂研修会 みんなの勉強室
令和5年12月11日	青森しあわせネットワーク「令和5年度推進会議」オンライン
令和6年2月13日	「こどもの居場所」の「これから」を考えるセミナー

【相談支援実績等】

	相談件数	支援件数	経済的援助	就労体験活動費	内容等
4月	2件	2件	¥ 65,102		入学金、電気代
5月	0件	0件	¥ -		
6月	0件	0件	¥ -		
7月	0件	0件	¥ -		
8月	0件	0件	¥ -		
9月	0件	0件	¥ -		
10月	0件	0件	¥ -		
11月	1件	1件	¥ 3,355		携帯代
12月	0件	0件	¥ -		
1月	1件	1件	¥ 13,090		光熱水費、通信費
2月	1件	1件	¥ 10,547		光熱水費、通信費
3月	1件	1件	¥ 126,718		光熱水費、通信費、電気代、制服代等
合計	6件	6件	¥ 218,812	¥ -	

2. フードバンクシステム活用事業

食料品等の調達に苦慮する世帯に対して、善意による寄贈品や販売困難品を譲り受け、これを自立支援上必要とする住民に提供するシステムを、つがる西北五社協職員連絡会との連携を基に構築し、体制を整備。令和5年度は、60件の相談受付及び食料等支援を行った。

3. 五所川原こども宅食おすそわけ便事業

食品等の定期的なお届けを活用し、社会的に孤立しがちな子育て家庭とつながりをつくることにより、必要な支援や相談しやすい環境づくりに結びつけ、小さな変化にも気づく関係性構築を図った。負担感なく食品等を受け取れるように配慮し、子育て家庭とひたすら「つながりつづける」ことを目指した。市内社会福祉法人や民生委員等地域住民、企業等の協力を得ながら、年6回の定期開催のほか時期や内容を特化した随時企画（おさがり交換会、女性用品等の配布）では、延べ335名が利用した。さらに、不安を抱えた人がいつでも個別事情で申し込み利用する「いつでもα（アルファ）」による随時相談を受け支援した。

定期実施日	対象世帯	ボランティア及び協力法人
令和5年4月22日	492世帯	ボランティア56名、18法人
令和5年6月24日	443世帯	ボランティア61名、16法人
令和5年8月26日	419世帯	ボランティア61名、18法人
令和5年10月28日	479世帯	ボランティア51名、20法人
令和5年12月16日	499世帯	ボランティア61名、20法人
令和6年2月17日	507世帯	ボランティア61名、20法人

地域福祉活動を支える『基盤づくり』の強化

第1 広報・啓発活動の充実

1. 広報紙「社協ごしょがわら」、「声の社協」発行事業

地域福祉やボランティア等に関する各種情報を積極的に伝え、福祉活動等への理解や参加協力を求め、法人活動の透明性を高めるための広報紙を共同募金配分金活用のもとに年6回発行、各回毎戸配布し、社協活動や各種福祉情報を広く住民に周知した。

「声の社協」の発行事業では、視覚障がい者が社会生活上必要な地域の情報を取得できる手段の一つとして、本会社協ごしょがわらを音声化し、利用登録者へ発行。視覚障がい者の社会参加、福祉増進を実施。

※ 利用登録者 9名 ※ 音訳ボランティア 個人2名、企業1社

## 2. ホームページ運営事業

社協活動や各種福祉情報が得られるよう、本会ホームページを運営。市内外の様々な方へ周知・情報を提供し、寄附内容等を随時ブログに掲載した。また電子メールの公開により、県外からの問い合わせや内容照会があった。

また、広く住民や関係機関に対し、本会の事業内容や理念をご理解頂くため、パンフレット・リーフレットを作成。社協の認知度向上と理解を目的に機会がある毎に適宜配布を実施した。

## 第2 組織体制の強化

### 1. 法人（会務）の適正な運営

本会理事・評議員会、その他会議及び研修会の開催により、適正な法人運営を図ると共に、機能強化並びに社会福祉活動の活性化を推進。各関係機関・地区社協総会等に出席することで、積極的に福祉環境の実態を広く把握するとともに本会事業の推進や状況周知を実施した。

理事会

第1回	開催日	令和5年6月12日（月）：五所川原市生き生きセンター多目的ホール
	出席者	理事10名、監事1名、事務局3名
	議案	1. 令和4年度 事業実施報告について 2. 令和4年度 決算報告について 3. 定款の一部変更（案）について 4. 理事及び監事の選任候補者（案）について 5. 評議員の欠員補充（案）について 6. 令和5年度 定時評議員会の開催（案）について <報告事項> ① 会長及び常務理事の職務執行状況について ② 社会福祉充実残額が生じない件 ③ 自己評価の件 ④ 第3次五所川原市地域福祉活動計画の件 ⑤ 金木中央老人福祉センターの一時休業について（状況報告）
	結果	1～6号原案どおり決議
第2回	開催日	令和5年6月29日（木）：五所川原市民学習情報センター2階視聴覚室
	出席者	理事10名、監事2名、事務局2名
	議案	1. 五所川原市社会福祉協議会会長の選定について 2. 五所川原市社会福祉協議会副会長の選定について 3. 五所川原市社会福祉協議会常務理事の選定について
	結果	1～3号原案どおり決議
第3回	開催日	令和5年8月30日（水）：五所川原市生き生きセンター多目的ホール
	出席者	理事8名、監事2名、事務局3名
	議案	1. 第66回五所川原市社会福祉大会の開催について 2. 市社会福祉大会表彰・感謝候補者の審査について <報告事項> ① 五所川原市健康増進施設開業の延期について
	結果	1～2号原案どおり決議

第4回	開催日	令和5年12月18日(月)：五所川原市生き生きセンター多目的ホール
	出席者	理事10名、監事2名、事務局3名
	議案	1. 令和5年度 資金収支補正予算(案)について 2. 令和5年度 第1回臨時評議員会の開催(案)について <報告事項> ① 令和5年度中間監査の結果について ② 全国社会福祉協議会優良活動表彰について ③ 五所川原市アクティブシニアポイント事業について
結果	1～2号原案どおり決議	
第5回	開催日	令和6年3月15日(金)：五所川原市生き生きセンター多目的ホール
	出席者	理事9名、監事2名、事務局3名
	議案	1. 令和5年度 第2次資金収支補正予算(案)について 2. 第3次 五所川原市地域福祉活動計画(案)について 3. 令和6年度 事業計画(案)について 4. 令和6年度 資金収支予算(案)について 5. 令和6年度 役員等賠償責任保険契約(案)について 6. 令和5年度 第2回臨時評議員会の開催(案)について <報告事項> ① 会長及び常務理事の職務執行状況について ② 社会福祉法人指導監査の結果について
結果	1～6号原案どおり決議	

(2) 評議員会

定時	開催日	令和5年6月29日(木)：五所川原市民学習情報センター
	出席者	評議員23名、理事5名(会長、副会長3名、常務理事)、監事2名、事務局3名
	議案	1. 令和4年度 事業実施報告について 2. 令和4年度 決算報告について 3. 定款の一部変更(案)について 4. 理事及び監事の選任について <報告事項> ① 社会福祉充実残額が生じない件 ② 自己評価の件 ③ 第3次五所川原市地域福祉活動計画の件
結果	1～4号原案どおり決議	
第1回臨時	開催日	令和6年1月10日(水)：五所川原市生き生きセンター多目的ホール
	出席者	評議員22名、理事4名(会長、副会長3名、常務理事)、監事1名、事務局3名
	議案	1. 令和5年度 資金収支補正予算(案)について <報告事項> ① 令和5年度中間監査の結果について ② 全国社会福祉協議会優良活動表彰について ③ 五所川原市アクティブシニアポイント事業について ④ 災害について
結果	1号原案どおり決議	

第2回臨時	開催日	令和6年3月27日(水)：五所川原市生き生きセンター多目的ホール
	出席者	評議員21名、理事5名(会長、副会長3名、常務理事)、監事2名、事務局3名
	議案	1. 令和5年度第2次資金収支補正予算(案)について 2. 第3次五所川原市地域福祉活動計画(案)について 3. 令和6年度事業計画(案)について 4. 令和6年度資金収支予算(案)について 〈報告事項〉 ① 社会福祉法人指導監査の結果について
	結果	1～4号原案どおり決議

### (3) 監査会

第1回	開催日	令和5年6月1日(木)：五所川原市生き生きセンター多目的ホール
	出席者	監事3名
社会福祉法第40条及び関係法令に基づき、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度に関し、・理事の業務執行状況・実施事業の状況・会計及び財産の状況等について監査の結果、口頭注意はあったものの、事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支計算書は、いずれも適正に実施していると認められた。		
第2回	開催日	令和5年11月15日(木)：五所川原市社会福祉協議会 金木支所
	出席者	監事3名
本会事業計画に基づき、令和5年度第2回監査を五所川原市社協金木支所で開催。事務管理、労務管理、事業管理、指定管理関連等について監査の結果、口頭指導はあったものの、良好であると認められた。		

### 五所川原市たすけあい資金運営委員会

開催日	令和5年12月13日(水)：五所川原市生き生きセンター会議室
出席者	運営委員4名、事務局3名
債権39件の対応(督促等)の説明には、生活状況確認という意味では有効だが、状況によっては整理の必要性もあるとの助言。また、懸念を前提に制度設計するのではなく、困っている住民が、安心して生活できる為の制度設計に発想を切り替えるようにとの助言を受ける。	

## 2. 各部署定例会議の開催、職員の資質向上

### 【管理職会議の開催】

事務事業等を円滑に推進するため、事務局長、事務局次長並びに部署の長による法人運営会議を12回開催し、意思統一及び職務遂行の基本事項の確認、各事業の現状把握に努めた。

### 【各部署による会議の開催】

各部署による定例会議の開催により、業務の課題解決・進行状況の確認を目的とし、意思統一の取れた認識のもと職員間の連携を図り、また各施設間との連絡・調整に努めた。

- ◇ 総務管理課 総務管理課内会議：週に一度の打ち合わせを実施
- ◇ 地域福祉課 地域福祉課月次会議：12回実施  
※ その他、ケース検討会議を適宜実施
- ◇ 介護福祉課 訪問介護・通所介護推進会議：12回実施  
※ その他、部門別各事業所間の三所会議を実施
- ◇ 居宅介護支援事業所 ケース検討会議：本会三事業所にて、週に一度の実施
- ◇ 金木支所 職員月次会議：12回実施  
※ その他、週に一度の職員会議、検討会議を適宜実施
- ◇ 市浦支所 リーダー会議：12回実施  
※ その他、ケース検討会議を月に一度実施

- ◇ くるみ園 職員会議：12回実施  
※ その他、各種検討委員会、ケース検討会を適宜実施
- ◇ 地域福祉センター（通所介護事業） 職員月次会議：12回実施  
※ その他、ケース検討会を適宜実施

**【職員の資質向上】**

変わりゆく制度や情報を的確に把握し、対応力を身につけるため、各種研修会へ積極的に参加し内容を共有すると共に所内のスーパーバイズ等による職員の資質向上に努めた。

**3. 地区社協や関係機関との連携・協働事業**

地域福祉を進める上で、関係機関等のそれぞれの機能を活かしながら、地域の福祉課題を共有し、課題解決に向けた取り組みを行っていくために、より一層の連携・協働に努めた。

(1) 社会福祉実習及び体験実習等受入状況

本会機能の社会開放の一環としての職場体験、就労体験等希望者を受け入れ、福祉啓発や福祉人材育成、職業意識の醸成を図った。

◇弘前学院大学 3年 1名（社会福祉実習）8日間

◇秋田看護福祉大学 3年1名（ソーシャルワーク実習）23日間

(2) 市浦医科診療所「急患取次ぎ」状況

市浦生活支援ハウスに隣接する市浦医科診療所の時間外照会が17件、うち3件が訪問診察対象患者のため、医師に引き継いだ。

（平日17:00から翌8:15、及び土・日・祝日は24時間対応）

(3) 介護施設運営推進会議への参画状況

運営推進会議は、各地域密着型サービス事業所が利用者に対し、提供しているサービス内容等の情報開示により、地域との連携かつ地域に開かれたサービスとすることで、サービスの質の確保を目的に設置。地域各施設からの参画依頼を受け、2か月に1回職員を派遣し地域に適した事業所運営等に寄与した。

※本会の参画施設（8施設） ◇ 地域密着型特別養護老人ホーム「さくらの里」

◇ グループホーム「エルムの里」 ◇ グループホーム「憩いの家」

◇ 小規模多機能型居宅介護「ケアホームのりた」、「ケアホームいこい」

◇ 小規模多機能型居宅介護「ESCORTケアここあん」

◇ グループホーム「さくら園」 ◇ グループホーム「いこいの里」

**第3 財政基盤の確保・強化**

**1. 会員会費制度の周知と拡大**

地域福祉活動推進への財源確保のため、住民等が社協活動の重要性を理解し、社協会員として継続的に地域福祉活動への参加・協力頂けるよう、積極的な周知に努め、会員（一般会員・賛助会員）の拡大・推進を行った。

(1) 会費等の状況

本会の自主事業を支える根幹であり、事業充実のためにも重要な財源であるとともに、各種活動や住民理解によって本会組織の強化に努めた。賛助会費の協賛者を広め、役員会費は8割アップすることが出来た。

①一般会費

地区社協	金額（円）	地区社協	金額（円）
第一地区	484,600	三好地区	118,500
中央地区	753,300	飯詰地区	131,100
栄地区	454,170	毘沙門長富地区	72,900
梅沢地区	78,900	中川地区	80,000
七和地区	164,400	金木地区	460,380
長橋地区	136,200	市浦地区	155,400
松島地区	331,500	計	3,421,350

②賛助会費

No.	氏名・団体名	金額 (円)	No.	氏名・団体名	金額 (円)
1	(株)青森電子計算センター	10,000	33	(有) 芦野清掃	5,000
2	(株)ワイズマン	10,000	34	黒滝メンテナンス	5,000
3	環境保全 (株)	10,000	35	今自動車商会	5,000
4	フルテック (株)	5,000	36	(有)又一荒関商店	30,000
5	(財)青森県薬剤師会 食と水の検査センター	10,000	37	(有)木村産業	10,000
6	(有) 三浦石油商会	10,000	38	太田自動車	10,000
7	でんき屋ポテト	5,000	39	(有)村元水道工業	10,000
8	じん住宅設計事務所	10,000	40	(株)中里観光	10,000
9	(株)毛内酒店	10,000	41	鮮魚飛鳥	10,000
10	(株)マルキ	10,000	42	小関精肉店	10,000
11	(株)又上佐々木呉服店	10,000	43	(株)成長ストア	5,000
12	(有)アート印刷	10,000	44	(株)さかもと青果	5,000
13	五所川原印刷 (株)	10,000	45	高松こめや	10,000
14	(株)JINCARE	10,000	46	牛肉のマルヨ	10,000
15	(有)池田石油	10,000	47	工藤精肉店	10,000
16	(有)サンセイ住設	10,000	48	(有)山本水産	5,000
17	(有)森永ストア	5,000	49	富士とうふ店	5,000
18	(有)ジャンボドライ五所川原工場店	5,000	50	七商	10,000
19	(有)クローバー商事	20,000	51	(有)羽藤商事	10,000
20	(株)はやぶさ保険事務所	10,000	52	(株)藤久らばんでりあ	10,000
21	坂本保険事務所	5,000	53	(株)みかみ商事	10,000
22	(有)安田自動車钣金	10,000	54	(株)サン・コーポレーション	10,000
23	さかえ自動車整備工場	10,000	55	(有)高橋電業	20,000
24	(有) 松江造花仏壇店	10,000	56	(株)西北機器サービス	20,000
25	いしおか	5,000	57	(株)環境技研	10,000
26	(株)須崎建設	10,000	58	(有)たむら文具	10,000
27	(有) 角浩小林商店	10,000	59	青森つがるマルイチ商店(株)	50,000
28	トヨタカローラ青森株式会社介護福祉用具相談室柏店	10,000	60	つがる惣菜	10,000
29	(有) 金木工業	20,000	61	工藤忠商店	10,000
30	工藤海産物	10,000	62	(株)丸英でんき	10,000
31	(有) 高直	5,000	63	(株)日産サティオ弘前 五所川原店	10,000
32	つがるにしきた農業協同組合 津軽北部支店	5,000		計	650,000

③役職員会費

内訳	金額 (円)	備考
本会役員及び評議員 44名	170,000	

## (2) 寄附金等の状況

## ①社会福祉事業寄附金

No.	氏名・団体名等	金額 (円)	他物品
1	神 ひさ	20,000	
2	カラオケみちのく	16,000	
3	北斗エンタープライズ	25,400	
4	五所川原東日流ライオンズクラブ	10,000	
5	五所川原中央ライオンズクラブ	10,000	
6	五所川原ライオンズクラブ	10,000	
7	つがるろまんの会	8,690	
8	五所川原市シルバー人材センター	17,700	
9	金木もちっこの会	10,000	
10	松緑神道大和山	30,000	
11	五所川原中央ライオンズクラブ	82,600	
12	棟方正一 ご家族	10,000	
13	つがる逍遙会	30,000	
14	昭和 41 年度金木中学校同期生	26,455	
15	日本道路(株) 青森合材センター	21,252	
16	日本道路(株) 青森合材センター(阿部敏幸)	5,542	
	計	333,639	

## ②善意銀行事業寄附物品等

No.	氏名・団体名等	物品等
1	匿名	大人用紙おむつ、お尻拭き 各 2 袋
2	株式会社 裕健 ひなた薬局	子ども用おむつ 5 袋, 手洗い洗剤 20 本, 子供用おむつ 24 袋他
3	寺田 富二子	生理用品 12 袋, 菓子 16 袋, 紙おむつ 3 袋, 他
4	天理教 西北 I・II 支部	りんご 45 kg, レトルト食品, 缶コーヒー, そうめん 4 袋他
5	株式会社 みかみ商事	菓子 45 個, 菓子 5 箱
6	東北電力ネットワーク(株) 五所川原電力センター	非常食 132 食, ノート 41 冊
7	木村 智美	中学生制服、カバン
8	ライオンズクラブ国際協会 332-A 地区	レトルト食品、カップ麺、白米、他
9	株式会社 薬王堂	マスク 2800 枚
10	専念寺	白米 60 kg
11	成田 美智子	玄米 60 kg
12	連合青森西北五地域協議会	素麺 182 袋、菓子 200 個
13	川村 純子	素麺 7 袋, スパゲッティ 2 袋, カレールウ他
14	明治安田生命 五所川原営業所	食品, 衣類, ぬいぐるみ他
15	株式会社 サン・コーポレーション	カップ麺 180 個
16	野宮 憲治	白米 30 kg
17	日の出町町内会	生理用品 90 袋
18	五所川原市身体障害者福祉会	交通安全マスコット 100 個

19	つがるにしきた農協女性部 津軽北部支部	オムツ 10 袋、おもちゃ
20	第一柳町町内会	生理用品 29 袋
21	野宮 治	おもちゃ、ブロック、食器、ベビーカー他
22	佐藤 弘光	トマト 25 kg
23	佐藤 公則	白米 10 kg
24	福士 とよ子	レトルトカレー 20 個
25	長円寺	カップラーメン 4 箱、ジュース 50 本
26	池田 栄蔵	白米 50 kg
27	JA つがるにしきた女性部	野菜等の食品、食器類、他
28	佐々木 希美	離乳食 5 袋、ミルク類 5 個
29	岩淵 嘉智二	かぼちゃ 12 個
30	鶴谷 せつ	中古冷蔵庫、洗濯機 各 1 台
31	白戸 健	栗 8 kg、ゼリー 4 個
32	田中 豊忠	中古車椅子 1 台
33	認定こども園 なおみ園	プルーン 40 kg
34	有馬 恵理	洗濯洗剤 6 箱
35	有限会社 ジャンボドライ	トートバッグ 7 枚
36	うめだりんご園	リンゴジュース 60 本
37	中野 ひろこ	バスタオル、毛布、タオルケット、他
38	須崎 たか子	布団 (15 枚)、座布団 (22 枚)
39	ヘアクリニック びゆうじん	こども服、長靴、他
40	つがるにしきた農業協同組合	白米 600 kg
41	青森つがるマルイチ商店株式会社	人参、玉ねぎ、じゃがいも 40 kg
42	三好村づくり協議会	赤味噌 300 kg
43	洋菓子店カルネドール	雪玉ドーナツ 25 個
44	お菓子 竹屋	ドーマン 60 個
45	白川 陸奥子	ミックスキャロット 36 本
46	葛西 光昭	玄米 180 kg
47	中村 まゆみ	レトルト 10 個、雑貨 10 点、他
48	七和まちづくりネットワーク	白米 165 kg
49	法永寺	飲料水、菓子、他
50	株式会社 ホンダセンターナリコー	発電機 1 台
51	青い森のほほえみプロデュース推進協会	洗濯洗剤 7 箱
52	白川 渚	乾麺、箱ティッシュ他
53	阿部 美紀子	白米 30 kg
54	須藤 加代子	飲料水 1 箱
55	フリーミストクラブ	生理用品 36 袋
56	青山 健治	冬タイヤ・ホイール 4 本セット
57	川村 寛	玄米 30 kg
58	小山 辰夫	大根 25 本
59	神明宮	白米 19 kg
60	境谷 葉子	紳士衣類 13 点、マスク

61	五所川原第三中学校 ボランティア委員会	箱ティッシュ 5 個入 3 組
62	小田川 浩三	柿 100 個
63	中村 智彦	りんご 40 kg、飲料水
64	毛内 ウメ子	玄米 30 kg
65	外崎 れい子	しめ縄 7 本
66	株式会社ユアテック	非常食 132 食
67	寺田 梅子	ぬいぐるみ、クレヨン
68	株式会社青森銀行	スタンド付きスピーカーマイク 2 台
69	生活協同組合コープあおもり浪岡センター・五所川原地域	生理用品、マスク、他
70	一戸 文美子	玄米 31kg
71	みちのく銀行津軽中央エリア	文房具、他
72	鹿内 公明	玄米 90kg
73	中屋敷 仁美	こども用ピアノ、ゴミ袋、他

## 2. 赤い羽根共同募金等の促進

住民等へ赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金の趣旨を理解頂き、募金活動への協力を依頼すると共に、募金実績による配分金の拡大を目指し、地域福祉の向上に努めた。

## 3. 有料広告の利用促進

社協広報誌（社協ごしよがわら）の一部紙面を積極的に活用し、広告掲載を希望する民間企業等の募集に努め、広告料収入の増額を推し進めた。

### 【広告掲載等の状況】

No.	法人名	金額（円）	備考
1	株式会社 丸英でんき	50,000	
2	有限会社アート印刷	65,000	
3	株式会社五所川原ケアセンター	130,000	
計		245,000	

## 4. 各種助成等の状況

社会福祉法において、社会福祉協議会が公共性の高い地域福祉推進の中核的組織であることに基づき、福祉事業充実のための補助金・受託金の継続的な支援を働きかけた。

## 第4 指定管理者制度の取り組み

### 1. 五所川原市養護老人ホームくるみ園管理運営

五所川原市養護老人ホームくるみ園の管理運営を受託して20年が経過。くるみ園に入居している43名（平均入居期間4年6ヶ月）の心身機能や生活意欲、ご家族の意向も把握して、実態に基づいた支援に取り組んだ。

入居者は、心身機能の衰えに不安を抱きつつも、機能低下予防への意識が低く、残存機能を積極的に活用する機会も少ないなどの課題を抱えているため、個々の課題解消による自立した生活を目指し、心身機能や意欲を考慮した活動計画や支援計画を作成した上で、ゲームや運動、外出、創作活動、軽作業など、相互交流のできる小グループ活動を実施し、主体性や社会性の向上を図った。

- (1) 健康支援：日常生活のなかで、食事摂取状態・バイタルサイン・顔色・表情等の一般状態の観察を支援員等の他職種職員と常に行うとともに、内科・精神科の定期的な診察、年2回の健康診断の実施で、疾病の早期発見、早期治療により重症化予防等に努めた。また、家族の面会時には入居者の健康状態について話し合いを持つように心掛け、精神・身体状態の変化や病気のときにはすぐに家族に連絡を取るなど連携を密にするようにしている。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、令和4年度に引き続き、不要不急の外出を極力控え、面会の制限または禁止については、くるみ園広報紙「かけはし」にてご家族へ伝え、協力を依頼した。

- (2) 食事支援：入居者の健康保持と美味しく楽しんで頂ける食事を目指し、できるだけ地産地消を行い、季節感のある旬の野菜や果物等を取り入れた栄養バランスの良い献立と行事食の提供を心掛けた。また、嗜好調査を行い、入居者の嗜好を考慮した食事に努め、咀嚼・嚥下状態に合わせた食形態になるよう心掛けた。

食事は安全で安心して頂けるものでなくてはならない為、衛生管理マニュアルに沿った衛生管理を行い、食品の納品から料理が出来上がるまでの各工程で食品の安全を確認し記録を取り食中毒予防に努めた。

- (3) 生活支援：養護老人ホームの使命と多様化する要望に応えるため、入居者やご家族と十分な話し合いを行い、相互の合意に基づく計画を作成し、昼夜を問わず支援できる体制作りを図った。また、長引く新型コロナウイルスの影響により、地域住民参加型の行事等が制限される中、感染防止対策を行ったうえで、レクリエーション活動の充実や、園内外行事等を実施した。

- (4) 防災対策：年2回の総合避難訓練（内1回の夜間(想定)避難訓練では、例年くるみ園防災協力員にも参加協力を依頼していたが、令和5年度はコロナ感染を鑑み、入居者・職員のみでの訓練）を実施し、近隣住民による施設防災への関心を高め、入居者の安心安全な生活の確保に努めた。

#### 【各種展開活動状況】

活動区分	令和5年度の主な活動内容	参加人数
月例活動	グラウンドゴルフ・バイキング昼食・誕生会他	943名
季節活動	小グループ外出・相撲星取り他	1,431名
年間活動	運動会・新年を祝う会他	209名
地域活動	ボランティア交流・各種実習者受入れ他	113名
自主活動	手工芸活動・基礎運動活動・作業応援活動・レク活動他	263名

【高齢者生活管理指導短期宿泊事業利用状況】

月	利用者数	利用日数	月	利用者数	利用日数
4月	1名	14日	10月	2名	37日
5月	0名	0日	11月	0名	0日
6月	0名	0日	12月	0名	0日
7月	0名	0日	1月	0名	0日
8月	1名	14日	2月	0名	0日
9月	1名	12日	3月	0名	0日
			合計	5名	77日

【市町村別入居者状況（令和6年3月31日現在）】

	五所川原市	つがる市	青森市	鶴田町	中泊町	鱒ヶ沢町	深浦町	計
男性	10	2		1				13
女性	21	4	1		1	2	1	30
計	31	6	1	1	1	2	1	43

【入居者及び入退所（月末）状況（入所者8名・退所者8名）】

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
入所者数	0	3	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1
退所者数	1	0	0	0	1	0	0	2	1	0	2	1
男性入居者数	12	13	13	13	13	14	14	13	13	13	12	13
女性入居者数	30	32	33	33	32	32	32	32	31	31	31	30
月末日在籍者数	42	45	46	46	45	46	46	45	44	44	43	43

【入居者の性別・年齢別状況（令和6年3月31日現在・平均年齢）】

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	平均年齢
男性	1	4	1	3	4	0	78.7
女性	1	7	4	4	6	8	82.5
計	2	11	5	7	10	8	81.4

2. 五所川原市地域福祉センター管理運営

福祉活動の拠点として五所川原市地域福祉センターの管理を受託運営。高齢者・障がい者及び地域住民に各種福祉サービスを提供し、施設機能の開放を行うことにより、団体・市民等の福祉増進・意識高揚に努め、人材の育成や福祉情報の発信等を行った。また、必要に応じ各種団体・機関等へ施設設備の開放（貸館業務）を実施、並びに館内清掃やレクリエーションなどのボランティアの協力を受入れ、館内の一部を使用した児童福祉の活動拠点「ひまわり放課後児童クラブ」にて、健全な遊び、高齢者等との交流にも努め、活気あふれるセンターの管理運営を行った。

開設日数	322日	ボランティア受入状況	延べ 67名
利用団体数	延べ 39団体	年間利用人員	延べ 1,704名

※ひまわり放課後児童クラブ運営状況は放課後児童健全育成事業実施状況として記載。(P.15)

### 3. 金木中央老人福祉センター管理運営

地域に開放された施設として、高齢者の福祉や健康増進を目的に週6日間開設（毎週月曜日休館）し、温泉機能の提供、各種相談への対応及び団体等の活動推進に寄与し、多数の方が活用した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開設日	26	26	6	5	27	26	26	26	14	24	25	27	258 日
有料入館者	1,363	1,181	255	181	912	942	1,076	1,131	611	1,108	1,135	1,201	11,096 名
無料入館者	2,940	3,077	691	408	2,443	2,689	2,896	2,863	1,470	2,898	3,199	3,568	29,142 名
計	4,303	4,258	946	589	3,355	3,631	3,972	3,994	2,081	4,006	4,334	4,769	40,238 名
摘要	※ 令和5年度有料入館者における利用金額は3,112,750円												

### 4. 生活支援ハウス管理運営

高齢者等に対し、プライバシーの保持や尊厳を維持、また、個人の自由や主体的決定の尊重、並びに、安全と衛生が保たれた環境の中で、介護支援機能・居住機能及び交流機能の総合的な提供により、通所利用者や入居者に多くの喜びと潤い、福祉増進を提供。また、各種団体の訪問等がさらに活気を与え、笑顔あふれる生活の継続のための支援を実施できた。

※金木生活支援ハウス（入居定員12名） ☆市浦生活支援ハウス（入居定員20名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
金 実利用者	8名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	4名	5名	5名	5名	5名	32名
木 利用延べ数	178	0	0	0	0	0	0	78	155	155	145	155	866
市 実利用者	6名	4名	4名	4名	4名	4名	5名	5名	5名	5名	5名	5名	56名
浦 利用延べ数	165	124	120	124	124	120	141	150	155	155	145	155	1,678

### 5. 五所川原市生き生きセンター管理運営

高齢者をはじめとする保健福祉の向上を図るため、入浴施設（60歳以上の市民のみ利用可能）を週3日間開設（火・木・土）、貸館業務（月～土）及び各種相談への対応を行った。

（入浴施設）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開設日	12	12	13	13	14	12	13	12	12	12	13	13	151 日
有料入館者	76	90	129	131	81	92	99	127	233	149	221	275	1,703 名
無料入館者	3,350	3,287	4,032	4,112	3,401	3,210	3,655	3,528	4,154	3,894	4,589	4,588	45,800 名
計	3,426	3,377	4,161	4,243	3,482	3,302	3,754	3,655	4,387	4,043	4,810	4,863	47,503 名
摘要	※ 令和5年度有料入館者における利用金額は607,950円												

（貸館業務）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開設日数	24	25	26	25	26	24	25	24	24	23	23	25	294 日
団体	10	7	11	13	11	13	11	16	14	11	9	11	137 団体
利用人数	3,350	3,287	4,032	4,112	3,401	3,210	3,655	3,528	4,154	3,894	4,589	4,588	4,040 人

令和5年度 五所川原市社会福祉協議会 各種行事及び庶務報告

自：令和5年 4月 1日

至：令和6年 3月 31日

月	日	行事・会議（研修）名	場所等
4月	12	第1回つがる西北五社会福祉協議会 職員連絡会幹事会	つがる市社協森田支所
	22	こども宅食おすそわけ便	地域福祉センター
	26	法人運営会議	生き生きセンター
	26	五所川原市共同募金委員会 監事監査会	生き生きセンター
	26	五所川原市認知症フォーラム実行委員会	五所川原市役所
	27	子どもの幸せ推進協議会 個別ケース検討会議	五所川原市役所
5月	8	子ども・子育てフェスティバル実行委員会 第1回会議	五所川原市役所
	10	郡市町村社協事務局長会議	アスパム
	12	第1回基幹的社協等連絡会議	県民福祉プラザ
	15	ふくし出前講座（金木地区婦人会：健康講座・介護予防）	金木総合支所
	16	五所川原市地域福祉計画部会	五所川原市役所
	17	地域ケア推進会議	五所川原市役所
	18	法人運営会議	生き生きセンター
	22	正副会長会議	生き生きセンター
	22	ふくし出前講座（はなや嘉会：脳トレ）	嘉瀬コミュニティセンター
	22	福祉安心電話サービス事業担当者会議	オンライン開催
	22	五所川原市ボランティア連絡協議会 令和5年度 総会	生き生きセンター
	23	「青森しあわせネットワーク」令和5年度活動説明会	オンライン開催
	23	生活困窮者自立相談支援事業支援調整会議	五所川原市役所
	24	五所川原市共同募金委員会 運営委員会	生き生きセンター
	26	若葉いきいきサロン訪問	五所川原温泉
	30	五所川原市地域福祉活動計画 作業部会	地域福祉センター
31	中核機関 第1回検討・専門的判断会議	オンライン開催	
31	五所川原市認知症フォーラム 第2回実行委員会	五所川原市役所	
6月	1	令和5年度五所川原市社会福祉協議会 監事監査会	生き生きセンター
	3	おさがり交換会	地域福祉センター
	5	ふくし出前講座（車椅子バスケ）	五所川原工科高校
	6	五所川原市共同募金助成事業 新任職員等研修会	オンライン開催
	7	第1回協力機関業務連絡会	五所川原市役所
	8	中核機関打合せ	生き生きセンター
	8	子ども・子育てフェスティバル実行委員会 第2回会議	五所川原市役所
	9	西北五社会福祉協議会 職員連絡会	鶴田町社会福祉協議会
	12	第1回理事会	生き生きセンター
	12	第1回地域ケア個別会議	オンライン開催

	15	青森県地域包括・在宅介護支援センター協議会 会員研修会	アラスカ
	15	法人運営会議	生き生きセンター
	19	評議員選任・解任委員会	生き生きセンター
	19	地域自立支援協議会 委員委嘱状交付式及び総会	五所川原市中央公民館
	21	社会福祉実習 I・II 連絡協議会	弘前学院大学
	21	つがる西北五社協事務局長会議	生き生きセンター
	22	第2回つがる西北五社会福祉協議会 職員連絡会幹事会	つがる市社会福祉協議会
	23	若葉いきいき運動会	五所川原温泉
	26	介護支援専門員再研修 (e-ラーニング) ~7/9	オンライン開催
	27	「みんなの居場所」ネットワークミーティング	アスパム
	28	中核機関専門的判断会議	オンライン開催
	28	地域福祉活動計画 作業部会	地域福祉センター
	29	定時評議員会	学習情報センター
	29	第2回理事会	学習情報センター
	29	生活困窮者自立支援制度従事者養成研修【理念・基礎編】~7/30	オンライン開催
7 月	3	地域福祉活動計画 作業部会	生き生きセンター
	4	日常生活自立支援事業 専門員・生活支援員研修会	アピオ青森
	5	障害者ピアサポート研修会	オンライン開催
	6	障がい福祉サービス等説明会	中央公民館
	6	地域の障がい福祉関係団体及び事業者の広報イベント	中央公民館
	7	ボランティア・市民活動実践セミナー	オンライン開催
	7	黒石こども食堂研修会 みんなの勉強室	Weekend cafe はつこま
	10	生活支援コーディネーター情報交換会	オンライン開催
	11	青森県同行援護従事者養成研修 (応用課程) ~12日	アスパム
	18	介護支援専門員再研修 (演習) ~7/19、21、25、26	オンライン開催
	19	相談支援従事者現任研修 ~7/20、8/18、9/8	青森県水産ビル
	19	第1回五所川原市子どもの幸せ推進協議会 実務者会議	五所川原市役所
	19	地域ケア推進会議	五所川原市役所
	21	法人運営会議	生き生きセンター
	22	ふくし出前講座 沢部町内会 (介護予防)	金木町沢部集会所
	24	子ども宅食おすそわけ便 オムツ配布会 ~7/26、28	生き生きセンター、金木支所 7/26
	26	中平井町内会交流会 訪問	敷島コミュニティセンター
	26	認知症フォーラム実行委員会	五所川原市役所
	27	県市町村社会福祉協議会連絡会市部会	県民福祉プラザ
	27	甲種防火管理者講習 ~7/28	松の館
	28	つがる西北五地域社会福祉協議会 災害時相互応援協定締結式	生き生きセンター
	28	日常生活自立支援事業 個別ケア会議	鶴田町保険福祉センター
	31	つがる西北五圏域権利擁護センター研修会	生き生きセンター

8月	1	子ども・子育てフェスティバル実行委員会 第3回会議	五所川原市役所
	2	在宅介護協力機関業務連絡会	五所川原市役所
	3	市福祉大会運営委員会	生き生きセンター
	4	生活支援コーディネーター情報交換会	生き生きセンター
	4	立佞武多観覧サービス（ボラ連）	障害者観覧スペース
	8	障害者雇用納付金等に関する調査	生き生きセンター
	8	ケア付き立佞武多「夢かなえ隊」	市内（運行コース）
	10	第3期五所川原市地域福祉計画策定に係る検討会	五所川原市役所
	18	正副会長会議	生き生きセンター
	21	アクティブシニアポイント事業説明会	生き生きセンター
	24	法人運営会議	生き生きセンター
	26	こども宅食おすそわけ便	地域福祉センター
	28	第四民児協 定例会出席	七和コミュニティセンター
	29	日常生活自立支援事業預かり書類等現物検査	金木・市浦支所、鶴田・中泊町社協
	29	市町村共同募金委員会事務担当者会議	アピオ青森
	30	第3回理事会	生き生きセンター
	31	西北五圏域権利擁護センター協議会委嘱状交付式及び第1回協議会	生き生きセンター
9月	2	五所川原市認知症フォーラム	オルテンシア
	4	ふくし出前講座（福祉ってなんだろう）	松島小学校
	4	第一民児協定例会出席	中央コミュニティセンター
	7	市福祉大会運営委員会	生き生きセンター
	8	生活支援コーディネーター情報交換会	生き生きセンター
	8	計画相談現任研修	青森県水産ビル
	9	愛の輪ボランティア事前研修会	生き生きセンター
	13	五所川原市民児協 研修企画部会研修会	学習情報センター
	13	ひとり暮らし高齢者昼食会 飯詰	コミュニティセンター飯詰
	13	共同募金推進会議、地区社協連絡会	五所川原市生き生きセンター
	16	愛の輪レクリエーション大会	五所川原市民体育館
	19	ふくし出前講座 高齢者疑似体験	南小学校
	20	つがる西北五広域連合地域自立支援協議会相談支援部会	中央公民館
	20	ふくし出前講座 高齢者疑似体験	第二中学校
	20	中核機関説明会	中央公民館
	20	地域ケア推進会議	五所川原市役所
	22	日常生活自立支援事業 関係機関連絡会議	オンライン開催
22	ふくし出前講座（高齢者疑似体験）	南小学校	
24	盲人会福祉大会	中央公民館	
25	黒石市民生委員児童委員協議会 児童福祉部勉強会	生き生きセンター	
27	ひとり暮らし高齢者昼食会 栄	コミュニティセンター栄	

	27	アクティブシニアポイント事業説明会	生き活きセンター
	28	日常生活自立支援事業預かり書類等現物検査	生き活きセンター
	28	共同募金及び社協会費等の打合せ会	コミュニティセンター飯詰
	28	法人運営会議	生き活きセンター
10 月	1	キッズフェスタ 2023	市民体育館
	6	ふくし出前講座（高齢者疑似体験）	松島小学校
	10	共同募金運動推進会議 栄地区共同募金委員会	コミュニティセンター栄
	11	ふくし出前講座（高齢者疑似体験・アイマスク体験）	栄小学校
	12	ひとり暮らし高齢者昼食会 新宮団地	新宮団地集会場
	13	生活支援コーディネーター情報交換会	生き活きセンター
	13	喜良市サロン 訪問	喜良市コミュニティセンター
	17	中平井町サロン 訪問	敷島コミュニティセンター
	18	ソーシャルワーク実習指導合同勉強会 東北福祉大学	オンライン開催
	18	ふくし出前講座（認知症・脳トレ）	田園町
	19	ふくし出前講座（福祉ってなんだろう）	東峰小学校
	19	法人運営会議	生き活きセンター
	21	第66回五所川原市社会福祉大会	オルテンシア
	24	アクティブシニアポイント事業説明会	生き活きセンター
	25	子どもの幸せ推進協議会個別ケース検討会議	五所川原市役所
	25	第3回つがる西北五社会福祉協議会職員連絡会幹事会	生き活きセンター
	26	五所川原市社会福祉法人等連絡協議会 総会	生き活きセンター
	26	アクティブシニアポイント事業説明会（介護事業所）	生き活きセンター
	26	五所川原保護区保護司候補者検討会議	市民学習センター
	28	こども宅食おすそわけ便	地域福祉センター
31	青森県社会福祉大会	リンクステーションホール青森	
31	ふくし出前講座（車椅子体験）	松島小学校	
11 月	1	認知症フォーラム実行委員会	五所川原市役所
	2	青森県市町村社協連絡会 部会就任及び介護保険部会	オンライン開催
	6	ふくし出前講座（認知症・脳トレ） 蒔田老人クラブ	蒔田コミュニティセンター
	7	ふくし出前講座（高齢者疑似体験）	南小学校
	7	児童館職員・放課後児童支援員等研修会	オンライン開催
	8	福祉活動計画作業部会	地域福祉センター
	9	地域福祉活動計画検討会	五所川原市役所
	9	生活福祉資金貸付事業者担当者研修会	アスパム
	10	ひとり暮らし高齢者昼食会 飯詰	飯詰コミュニティセンター
	11	ちょこっとゴミ拾い活動	菊ヶ丘公園
	13	ふくし出前講座（手話・点字）	栄小学校
	13	日常生活自立支援事業 移管打合せ	鶴田町社協

	15	中柏木なかよし会 しめ縄づくり	中柏木コミュニティセンター
	15	中間監査 金木支所	金木支所
	15	地域ケア推進会議	五所川原市役所
	16	ひとり暮らし高齢者昼食会 毘沙門	毘沙門コミュニティセンター
	17	烏森ふれあいサロン 訪問	烏森集会場
	17	生活支援コーディネーター情報交換会	生き生きセンター
	17	地域のお宝発表会 in あおもり	オンライン開催
	21	ふくし出前講座(介護予防)	磯松コミュニティセンター
	21	市町村社会福祉協議会職員研修会	アラスカ
	21	食でつながるプラットフォームづくり 五所川原市研修会	市学習情報センター
	22	子ども・子育てフェスティバル実行委員会第4回会議	五所川原市役所
	22	第一地区共募推進会議	中央コミセン
	25	盲人会忘年会	サンルート
	26	下平井町町内会・ここまる 餅つき会	北部コミュニティセンター
	27	災害ボランティアセンター設置運営者研修	アスパム
	28	青森県防災(災害)ボランティアコーディネーター連携研修会	アピオ青森
	30	法人運営会議	生き生きセンター
	30	第2回基幹的社協等連絡会議	アピオ青森
12月	5	ひとり暮らし高齢者昼食会 梅沢	梅沢コミュニティセンター
	7	正副会長会議	生き生きセンター
	7	「ご近所みまもりさん」養成講座	松の館
	8	生活支援コーディネーター情報交換会	生き生きセンター
	8	つがる西北五広域連合地域自立支援協議会 第2回精神保健福祉部会	市学習情報センター
	11	「青森しあわせネットワーク」令和5年度推進会議	オンライン開催
	12	つがる西北五社会福祉協議会職員連絡会会員研修会	松の館
	14	第1回五所川原市成年後見制度利用促進委員会	五所川原市役所
	15	福祉・介護職員処遇改善加算取得促進セミナー	オンライン開催
	16	こども宅食おすそわけ便 3周年イベント わくわくひろば	地域福祉センター
	18	第4回理事会	生き生きセンター
	20	「中泊町地域貢献活動連絡協議会」第2回総会兼研修会	中泊町中央公民館
	21	法人運営会議	生き生きセンター
	22	青森県立保健大学 ソーシャルワーク実習Ⅱ報告会	オンライン開催
26	青森県市町村社協連絡会 地域福祉部会	オンライン開催	
1月	10	第1回臨時評議員会	生き生きセンター
	12	北津軽郡社会福祉大会	パルナス
	12	介護事業者連絡協議会研修会	学習情報センター
	13	青年会議所新年祝賀会	プラザマリユウ
	15	下平井町町内会サロン	北部コミセン

	17	地域ケア会議	五所川原市役所
	18	高齢者権利擁護意思決定支援研修	オンライン開催
	18	社協の介護サービス事業の今後の展開等に関する勉強会	オンライン開催
	19	生活支援サービスセミナー「地域共助の始め方」	中泊町農村活性化施設
	21	第63回黒石市民福祉大会	津軽伝承工芸館
	22	社会福祉実習連絡協議会 社会福祉実習Ⅰ体験報告会	弘前学院大学
	25	法人運営会議	生き生きセンター
	25	家事関係機関との連絡協議会	オンライン開催
	29	令和5年度社会福祉法人に係る指導監査	生き生きセンター
2月	2	災害協定ネットワーク会議	オンライン開催
	5	県社協との「おすそわけ便」打ち合わせ会	生き生きセンター
	6	一人暮らし高齢者昼食会（毘沙門）	毘沙門コミュニティセンター
	7	ふくし出前講座（点字学習） 東峰小学校	東峰小学校
	8	青森県生活支援コーディネーター養成研修「移動編」	オンライン開催
	8	西北五地域保健医療推進協議会	プラザマリユウ
	8	生活支援コーディネーター情報交換会	生き生きセンター
	9	子どもの幸せ推進協議会実務者会議	市役所2F
	10	楽しもう♪マツ・ケン冬のサンバ	地域福祉センター
	13	「こどもの居場所」の「これから」を考えるセミナー	県民福祉プラザ
	13	つがる西北五広域連合地域自立支援協議会相談支援部会	中央公民館
	14	青森県共同募金会 募金運動検討委員会	オンライン開催
	17	おすそわけ便	地域福祉センター
	17	社会福祉法人和晃会研修会	サポートセンターステラ
	20	西北五圏域 権利擁護センター研修会	学習情報センター
	20	つがる西北五社協職員連絡会 権利擁護検討部会	学習情報センター
	21	重層的支援体制整備支援事業人材養成研修【導入編】	ふれあいず〜む館
	22	法人運営会議	生き生きセンター
26	成年後見事業連絡会議	オンライン開催	
3月	6	正副会長会議	生き生きセンター
	8	第3回基幹的社協等連絡会議	アピオあおもり
	11	五所川原市介護事業者研修会	市民学習情報センター
	15	第5回理事会	生き生きセンター
	21	法人運営会議	生き生きセンター
	25	青森県成年後見制度全体協議会	オンライン開催
	27	第2回評議員会	生き生きセンター

事業報告付属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため事業報告の付属書類は作成していない。